

科目ナンバリング： UGS002
授業形態： 講義
科目名： 日本国憲法
担当教員： 金子 匡良(KANEKO Masayoshi)

【授業の紹介】

この授業では、日本国憲法の土台をなす立憲主義およびそれを生み出した歴史的背景について理解した上で、日本国憲法の構造および主要な規定内容について学んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

この授業は、以下の事項を修得することを目標とする。
憲法の土台をなす立憲主義の内容について理解し、それを説明することができる。
立憲主義が誕生した歴史的背景と立憲主義の変遷について理解し、それを説明することができる。
日本国憲法の制定経緯について理解し、それを説明することができる。
日本国憲法の構造および主要な規定内容について理解し、それを説明することができる。
憲法の知識を通じて現代社会の諸問題を分析することができる。

【成績の評価】

成績評価は、定期試験の点数に基づいて行う（100％）。試験後に試験内容についてフィードバックを行う。

【使用テキスト】

なし。毎回の授業時に配布するプリントに基づいて授業を進める。

【参考文献】

長谷部恭男(解説)『日本国憲法』（岩波文庫、2019年）

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

国会議員政策担当秘書の実務経験がある。それを生かし、講義の中で憲法と現実政治との関連についても触れる。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	【憲法の意義と機能】 立憲主義の意義と憲法の規範構造について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
2	【憲法の歴史：近代憲法の成立】 近代憲法が成立した経緯について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
3	【憲法の歴史：近代憲法の変遷と現代憲法の成立】 近代憲法の変遷と現代憲法の成立について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
4	【日本国憲法の概要】 日本国憲法の全体構造と特徴について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
5	【国民主権】 国民主権の意義、およびその規範的意味について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
6	【天皇制】 象徴天皇制の概要と天皇の国事行為について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
7	【平和主義】 平和主義の意義と憲法9条に関する解釈・判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
8	【平等権】 平等権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
9	【表現の自由】 表現の自由の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
10	【参政権】 参政権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
11	【社会権】 社会権の意義と保障範囲、およびそれに関する判例について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
12	【権力分立】 権力分立の意義およびその現代的変容について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
13	【違憲審査制】 違憲審査制の意義とその限界について学ぶ。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
14	【司法権の独立】 司法権の独立の意義とそれを脅かす要因につ	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
	いて学ぶ。	復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
15	【授業のまとめ】 授業内容を振り返るとともに、試験を行った上でフィードバックを行う。	予習：プリントを読んでおく。（2時間程度） 復習：プリントを読み直し、問題点や疑問点を確認する。（2時間程度）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UHH001
授業形態： 講義
科目名： 健康とスポーツ【経】
担当教員： 宮本 賢作(MIYAMOTO Kensaku)

【授業の紹介】

成長期から成人期に移行するこの時期に、正しいヘルスリテラシーを身につけるとともに、今後起こりうる健康問題について理解することで、その予防としての運動、食事、休養の重要性と、それをサポートする社会的なシステムについて理解する。またこれらを主体的かつ科学的に捉え、行動変容を意識した実践力と、その基盤となるエビデンスに基づいた健康づくりについて考察する。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	

【到達目標】

健康な生活を営む上で必要な基礎知識の理解を深めることができる。
ヒトの生涯のさまざまな場面で生じる疾病の予防および健康の維持と生体機能の関係について理解を深めることができる。

【成績の評価】

成績の評価は学期末試験（60%）、レポート・ミニテスト（30%）、学習態度（10%）によって行い、総計60%以上を合格とします。なお、レポートについては講評や添削を行い返却（フィードバック）します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

シンプル衛生公衆衛生学2022（南江堂）
これからの健康とスポーツの科学 第5版（講談社）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・健康（及び疾病）の概念とヘルスプロモーション	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
2	健康を取り巻く環境についての理解	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
3	健康情報とヘルスリテラシー	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
4	幼少期～成長期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
5	成人期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
6	高齢期の健康問題	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
7	死生観と生命倫理	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
8	健康と運動・労働	毎回、授業の概要を紹介したレジュメを配布します。レジュメをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着す	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		るよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
9	健康と食事・栄養	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
10	健康と休養・睡眠	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
11	喫煙，飲酒，薬物乱用，メディアリテラシーと健康	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
12	運動の科学と健康	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
13	体力の評価と分析	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
14	エビデンスに基づいた医療と健康づくり&持続可能な健康づくり	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
15	まとめ（生涯にわたる健康増進とスポーツライフの継続を目指して）	毎回、授業の概要を紹介したレジюмеを配布します。レジюмеをよく読み授業に主体的に取り組めるよう準備して下さい（毎回2時間程度）。また授業で学習した知識を活用し健康や運動に関するレポート作成や筆記試験を行います。授業で学んだ知識や技能が定着するよう復習を十分行って下さい（毎回2時間程度）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UHH002
授業形態： 実習
科目名： 健康とスポーツ実習【経A】
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

本授業では様々な競技スポーツを通して、基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることを目的としている。健康づくりや生きがいづくりの観点からもスポーツを捉えることができる態度を養うことや、ディプロマ・ポリシーに記載のように、スポーツを通して様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することでスポーツに関わる諸問題の解決に取り組んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

様々な競技スポーツを通して基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることができる。
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、既存の知識を応用し技能向上のための効果的な練習方法の発見や、新たな問題点の発見およびそれを解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（20%）、定期試験（40%）で評価する。
またレポートについては、その都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。

60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

G.シュテラー、I.コンツァック、H.デブラー著『ボールゲーム指導辞典』（大修館書店、1993年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	ゴール型スポーツ（バスケットボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	ゴール型スポーツ（バスケットボール：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	ゴール型スポーツ（バスケットボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	ゴール型スポーツ（サッカー：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	ゴール型スポーツ（サッカー：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	ゴール型スポーツ（サッカー：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		(30分)	
9	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：キャッチボール、バッティング）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
10	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
11	ネット型スポーツ（バレーボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
12	ネット型スポーツ（バレーボール：レシーブ、トス、スパイク）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
13	ネット型スポーツ（バレーボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
14	ネット型スポーツ（バドミントン：ルールの理解、基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
15	ネット型スポーツ（バドミントン：基本ストローク、ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。(30分) 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと(30分)	担当：花城 清紀
	定期試験(実施する)		担当：花城 清紀

科目ナンバリング： UHH002
授業形態： 実習
科目名： 健康とスポーツ実習【経B】
担当教員： 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori)

【授業の紹介】

本授業では様々な競技スポーツを通して、基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることを目的としている。健康づくりや生きがいづくりの観点からもスポーツを捉えることができる態度を養うことや、ディプロマ・ポリシーに記載のように、スポーツを通して様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することでスポーツに関わる諸問題の解決に取り組んでいく。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

様々な競技スポーツを通して基礎的な知識や技能、ルールや戦術を身に付けることができる。
アクティブラーニング（グループディスカッションやグループワーク）を通して、既存の知識を応用し技能向上のための効果的な練習方法の発見や、新たな問題点の発見およびそれを解決する力を修得することができる。

【成績の評価】

授業態度（40%）、レポート（20%）、定期試験（40%）で評価する。
またレポートについては、その都度、結果を授業時に講評してフィードバックを行い、定期試験の結果および内容については、オフィスアワーの際に解説を行う。
60点以上を合格とする。

【使用テキスト】

テキストは特に指示せず、適宜資料を配布する。

【参考文献】

G.シュテラー、I.コンツァック、H.デブラー著『ボールゲーム指導辞典』（大修館書店、1993年）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習としてスポーツについて日頃より興味のある用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること（30分） 復習としてガイダンスの内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
2	ゴール型スポーツ（バスケットボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
3	ゴール型スポーツ（バスケットボール：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
4	ゴール型スポーツ（バスケットボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
5	ゴール型スポーツ（サッカー：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
6	ゴール型スポーツ（サッカー：シュート、2対2、ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
7	ゴール型スポーツ（サッカー：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
8	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
9	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：キャッチボール、バッティング）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、	担当：花城 清紀

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	
10	ベースボール型スポーツ（ソフトボール：ミニゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
11	ネット型スポーツ（バレーボール：ルールの理解および基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
12	ネット型スポーツ（バレーボール：レシーブ、トス、スパイク）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
13	ネット型スポーツ（バレーボール：ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
14	ネット型スポーツ（バドミントン：ルールの理解、基本技術）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
15	ネット型スポーツ（バドミントン：基本ストローク、ゲーム）	予習として配布資料やノートなどに目を通し、専門用語を調べ、疑問点と合わせてノートに記載すること。（30分） 復習として授業内容を自分なりにまとめて再構築し、他者へ説明できるようにしておき、自分なりの意見をノートに記載しておくこと（30分）	担当：花城 清紀
	定期試験(実施する)		担当：花城 清紀

科目ナンバリング： UCE101

授業形態： 演習

科目名： 英語 【経あ】

担当教員： バテン, ポール(BATTEN, Paul)

【授業の紹介】

本授業では、基礎的な英語文法の定着を図るとともに、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルの育成を重点的に行います。身近で実用的なトピックを扱いながら、読む・聞く・書く・話すという英語の総合的な運用能力を習得し、社会人としての幅広い教養を身に付け、豊かな人間性の向上を目指します。

また、さらなるリスニング能力の定着に向けて、ディクテーション活動を適宜取り入れます。和訳の練習も行います。

毎回、十分に予習・復習を行った上で授業に臨んで下さい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。
2. 英文法の基礎を理解することができる。
3. 英語語彙および表現を練習し、使うことができる。
4. 多文化コミュニケーションに対する知識や理解を深めることができる。

【成績の評価】

小テスト(30%)、定期試験(30%)、授業中の各活動(40%)

フィードバック方法：授業中に行います。

小テストはその都度解答・解説を行う。

【使用テキスト】

柴田真一、神藤理恵、Lindsay Wells 著

『MUST-HAVE English Skills for Global Communication』(金星堂 2018年)

【参考文献】

オンライン英和辞典等を必ず準備してください。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

私の専門分野は応用言語学、つまり言語教育と学習です。私は日本での海外生活経験があり、日常生活だけでなく、さまざまな環境で35年以上にわたって第二言語である日本語を使ってきました。第二外国語を習得し、それをうまく使うために何が必要かを熟知しています。また、日本人の英語学習者の特徴にも精通しています。私のクラスでは、様々な学習者に適切な指導と励ましを提供できればと思っています。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	Introduction and course outline	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
2	Unit 1 May I help you?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
3	初対面の人と会話を続け表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
4	Unit 2 What do you do on the weekend?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
5	ポジティブ・ネガティブな意見を述べる時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
6	Unit 3 That sounds interesting!	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
7	体調を伝える時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	Unit 4 I'm not feeling well.	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
9	注意する時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
10	Unit 5 You shouldn't step there!	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
11	提案する時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
12	Unit 6 Why don't we buy potatoes?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
13	スケジュールを調整する時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
14	Unit 7 Would 5:00 p. m. be convenient for you?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	依頼を断る時の表現	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしていくこと。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いていくこと。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
	定期試験(実施する)		コースワークや授業での貢献度、英語でのコミュニケーション能力や努力によって評価される。

科目ナンバリング： UCE101
授業形態： 演習
科目名： 英語 【経い】
担当教員： 藤井 昭洋(FUJII Akihiro)

【授業の紹介】

皆さんの中には、過去に英語を学んできた過程の中で、英語が嫌いではないにもかかわらず伸び悩んでいたたり、また英語に初めて出会ったときのつまずきが原因で英語アレルギーになったりという経験を持っている人がいるのではないのでしょうか。この授業は、そのような思いをしている人が無理なく英語を復習しながら、バランスのとれた4技能を習得し、さらに実用英語技能検定試験やTOEIC受験のための基礎を築いていくためのものです。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

バランスの取れた英語力の習得のためには、当然のことながら文法・語法の理解は不可欠です。この授業で目指すものは、以下の三つです。

基礎的な文法を確実に理解できるようになる。
まとまった長さの英文を読み、理解することができる。
実用英語検定試験3級程度の英文を聞き、理解することができる。

【成績の評価】

小テスト(40%)、宿題(10%)および定期試験(50%)の結果を総合的に判断して行ないます。小テストは直後に解答を解説し、また提出物は評価したものを、その後の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】

佐藤 哲三 「基礎からの英語入門」(First Primer) (南雲堂)

【参考文献】

オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・英語のbe動詞（現在）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
2	一般動詞（現在）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
3	多様な疑問文	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
4	be動詞（過去）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
5	一般動詞（過去）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
6	特殊な文	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
7	未来形	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
8	進行形	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
9	助動詞（それらの特殊用法）	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	
10	英文の第1, 2, 3文型	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。（15分） 3. 次回の授業の予習をすること。（30分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
		分)	
11	英文の第4, 5文型	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
12	受動態(基本的なもの)	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
13	受動態(熟語となっているもの)	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
14	比較(原級比較と比較級)	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
15	比較(最上級と特殊のもの)	1. 毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。(15分) 2. 宿題として課された提出物の準備をすること。(15分) 3. 次回の授業の予習をすること。(30分)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE101

授業形態： 演習

科目名： 英語 【経う】

担当教員： ジェームズ ブロックスホーム

【授業の紹介】

英語によるコミュニケーション力を身に付けるために、まず、英文法の基礎的事項の定着ならびに語彙力の強化に努めます。毎時間の授業では、使用頻度の高い語彙や英文法の実践的な学習を行い、ビジネス英会話を含む様々な問題演習に取り組むことにより、英語を正しく運用する力を養成します。併せて、平易な英文の読解演習を行うとともに、社会生活で必要とされる英語の常識にも触れ、その力が今後の人生で生かせるようにします。様々な課題が課されるので、受講生は家庭での予習・復習を中心として、継続的な学習が必要とされます。毎時間、英和辞典(電子辞書も可)を使用しますので、必ず持参してください。

The class will be conducted using a flipped classroom approach. Students will need to study and submit assignments prior to the class in order to participate in class activities. Classes will use the allocated textbook with additional resources to improve communication skills.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

未入力

【成績の評価】

小テスト・宿題 (50%)

中間テスト (20%)

期末テスト (30%)

【使用テキスト】

Complete Communication Book 1 -Basic. (Seibido, 2022年)

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Study and complete Unit 1 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
2	Unit 1	Unit 1 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
3	Unit 1	Study and complete Unit 2 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
4	Unit 2	Unit 2 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
5	Unit 2	Study and complete Unit 3 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
6	Unit 3	Unit 3 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
7	Unit 3	Review Unit 1-3 for中間テスト	Review Unit 1-3 for中間テスト
8	中間テスト	Study and complete Unit 4 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
9	Unit 4	Unit 4 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
10	Unit 4	Study and complete Unit 5 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
11	Unit 5	Unit 5 appendix	Students should submit the

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
			homework a day prior the lesson and study for the vocab test
12	Unit 5	Study and complete Unit 6 part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
13	Unit 6	Unit 6 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
14	Unit 6	Review unit 1-6 期末テスト	Review unit 1-6 期 末テスト
15	期末テスト		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE102

授業形態： 演習

科目名： 英語 【経あ】

担当教員： バテン, ポール(BATTEN, Paul)

【授業の紹介】

英語 に継続し、本授業では基礎的な英語文法の定着を図るとともに、グローバル人材に求められるコミュニケーションスキルの育成を重点的に行います。身近で実用的なトピックを扱いながら、読む・聞く・書く・話すという英語の総合的な運用能力を習得し、社会人としての幅広い教養を身に付け、豊かな人間性の向上を目指します。

また、さらなるリスニング能力の定着に向けてディクテーション活動を適宜取り入れます。毎回、十分に予習・復習を行った上で授業に臨んでください。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 英語を用いて、積極的にコミュニケーションを図ることができる。
2. 英文法の基礎を理解することができる。
3. 異文化に対する知識や理解を深めることができる。
4. 仕事で使う数字、金額、などを正しく書くこととすることができる。

【成績の評価】

小テスト(30%)、定期試験(30%)、授業中の各活動(40%)

フィードバック方法：授業中に行います。

小テストはその都度解答・解説を行う。

【使用テキスト】

柴田 真一、神藤 理恵、Lindsay Wells 著

『MUST-HAVE English Skills for Global Communication』(金星堂 2018年)

【参考文献】

英和辞典を必ず準備してください(電子辞書可)。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、Unit 8 - I'll have to pass	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
2	Dealing with Diet Restrictionsについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
3	Unit 9 - I have an idea	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
4	The importance of being proactiveについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
5	Unit 10 - Could you do me a favor?	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
6	Two ways to ask: Directly or indirectlyについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
7	Unit 11 - I think you could explain this more	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
8	Giving and accepting criticism in an effective wayについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
9	Unit 12 - I don't get what you mean	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
10	But I still don't understandについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
11	Unit 13 - I'm so sorry to hear that	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
12	Being a good winner ... or loserについて	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
13	Unit 14 - That's not what I meant	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
14	What should I give them?について	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしてください。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いてください。復習は毎回2時間程度しておくこと。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
15	Unit 15 - Let's keep in touch	授業時間外の学習として、以下の点を徹底してください。 小テストに向けての復習 授業への十分な予習 毎時間、次時に学習する予定のユニットの予習をしていくこと。事前に1時間合わせて出てくる新出単語・表現を調べて、ノートに書いていくこと。復習は毎回2時間程度しておくこと。	
	定期試験(実施する)		コースワークや授業での貢献度、英語でのコミュニケーション能力や努力によって評価される。

科目ナンバリング： UCE102
授業形態： 演習
科目名： 英語 【経い】
担当教員： 藤井 昭洋(FUJII Akihiro)

【授業の紹介】

英語 に引き続き、この授業では文法力のさらなる定着を図るとともに、身近な話題を扱いながら、英語の4技能の運用能力を高め、将来社会人として最低限必要な英語力の涵養に努めます。また、実用英語技能検定試験やTOEICの問題にあたりながら、英語による問題解決力の向上をもめざします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 基本的な英文法を理解し、使うことができる。
2. 平易な英文の読解ができる。
3. 日常的な英文を聞いて、概要をつかむことができる。
4. 英検準2級に出題された問題を解くことができる。

【成績の評価】

前期と同様に、小テスト(40%)、宿題(10%)および定期試験(50%)の結果を総合的に判断して行ないます。小テストは直後に解答を解説し、また提出物があれば評価したものを次の授業時に返却し、解説します。

【使用テキスト】

前期の進度により、後期に使用するテキストは、前期の最後に指示します。

【参考文献】

オリエンテーションの時、指示します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・前期の復習	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
2	完了形（結果、継続）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
3	完了形（経験）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
4	不定詞（名詞用法）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
5	不定詞（形容詞・副詞用法）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
6	分詞	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
7	動名詞	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
8	時制	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
9	関係代名詞（基本）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
10	関係代名詞（発展）	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
11	節	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
12	熟語の整理	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
13	仮定法	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
14	仮定法過去完了	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
15	英語の重要構文	1．毎時間初めに行なう小テストのために前回の授業内容を復習すること。（15分） 2．提出物の準備をすること。（15分） 3．次回の授業の予習をすること。（30分）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCE102
授業形態： 演習
科目名： 英語 【経う】
担当教員： ジェームズ ブロックスホーム

【授業の紹介】

英語1に引き続き、英語によるコミュニケーション力をさらに高めるために、英文法の重要事項の定着 ならびに語彙力の強化に努めます。毎時間の授業では、使用頻度の高い語彙や英文法の実践的な学習を進め、ビジネス英会話を含む様々な問題演習にも取り組むことにより、英語を正しく運用する力を高めていきます。併せて、平易な英文の読解演習を行うとともに、社会生活で必要とされる英語の常識にも触れ、その力が今後の人生で生かせるようにします。

様々な課題が課されるので、受講生は家庭での予習・復習を中心として、継続的な学習が必要とされます。毎時間、英和辞典（電子辞書も可）を使用しますので、必ず持参してください。

The class will be conducted using a flipped classroom approach. Students will need to study and submit assignments prior to the class in order to participate in class activities. Classes will use the allocated textbook with additional resources to improve communication skills.

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

未入力

【成績の評価】

小テスト・宿題（50%）
中間テスト（20%）
期末テスト（30%）

【使用テキスト】

Complete Communication Book 1 -Basic. （Seibido, 2022年）

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Study and complete Unit 7 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
2	Unit 7	Unit 7 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
3	Unit 7	Study and complete Unit 8 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
4	Unit 8	Unit 8 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
5	Unit 8	Study and complete Unit 9 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
6	Unit 9	Unit 9 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
7	Unit 9	Review Unit 7-9 for中間テスト	Review Unit 7-9 for中間テスト
8	中間テスト	Study and complete Unit 10 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
9	Unit 10	Unit 10 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
10	Unit 10	Study and complete Unit 11 Part 1/2 vocab/ Unit 11 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
11	Unit 11	Study Unit 12 Part 1/2 vocab/ Unit 12 appendix	Students should submit the

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
			homework a day prior the lesson and study for the vocab test
12	Unit 12	Study Unit 13 part 1/2 vocab/ Unit 13 appendix	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
13	Unit 13	Study and complete Unit 14/15 Part 1/2 vocab/	Students should submit the homework a day prior the lesson and study for the vocab test
14	Unit 14/15	Review unit 7-15 期末テスト Unit 14/15 appendix	Review unit 7-15 期末テスト
15	期末テスト		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCF101

授業形態： 演習

科目名： フランス語

担当教員： エラリー ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】

「フランス語が難しければ、フランス人でも話せません!」という出発点から始まります。赤ちゃんは周りの音から少しずつ意味が取れるようになり、自分から表現できるようになります。このフランス語に参加される皆さんは赤ちゃんではありませんが、同じやり方で少しずつフランス語を自分のものにしていきます。ポイントは実際に話される内容を生かせることです。つまり、テキストの登場人物がやっていることを学んでいくのではなく、自分について、自分がやっていることについて、自分がやりたいことについて、そしてそれぞれについて仲間に尋ねる、という覚え方です。

15回の授業を2つのプロジェクトに分けます。それをさらに3つのテーマに分けて、各テーマに対して2つの授業をします。1つ目の授業は先生の話しているモデルに従った簡単な会話を中心に(話す力)、そして、その会話について簡単な文書を読みます(読む力)。2つ目の授業は身についた内容について簡単な作文をし(書く力)、それを発表して、会話に戻します(一つの「聞く、話す、読む、書く」循環が完成できました)。テーマを通じて、語彙や使える表現が少しずつ増やしていきます。プロジェクトごとにまとめ(復習)の授業があります。最後の授業は次のステップにつなげる内容を導入します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
2. 総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。

【成績の評価】

授業中の積極的な参加の評価 80%
テーマの復習 20% 総合合格点は60点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

必要な場合はプリント

【参考文献】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ>

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）自分について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
2	（初級）自分について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
3	（初級）家族、親戚について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
4	（初級）家族、親戚について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
5	（初級）友達、先生、バイト先の仲間について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
6	（初級）友達、先生、バイト先の仲間について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
7	（初級）テーマの復習	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
8	（中級）自分について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
9	<p>（中級）自分について、書く（発表）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
10	<p>（中級）家族、親戚について、話す（読む）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
11	<p>（中級）家族、親戚について、書く（発表）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
12	<p>（中級）友達、先生、バイト先の仲間について、話す（読む）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
13	<p>（中級）友達、先生、バイト先の仲間について、書く（発表）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
14	<p>（中級）テーマの復習</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
15	<p>（初級）日常生活について、話す（読む）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： UCF102

授業形態： 演習

科目名： フランス語

担当教員： エラリー ジャンクリストフ(Jean-Christophe Helary)

【授業の紹介】

フランス語 を参照。

フランス語 は、同じ方法で、別のプロジェクトを通じてフランス語能力を高めていきます。フランス語検定5級を受けたい生徒に対して独学で受けられるようにヒントを提示します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 実際の状況に応じて、コミュニケーションを図ることができる。
2. 総合的なフランス語能力を身につけるため、「聞く、話す、読む、書く」の循環を展開できる。
3. 独学でフランス語検定5級を受けられる力を身につけることができる。

【成績の評価】

授業中の積極的な参加の評価 80%
テーマの復習 20% 総合合格点は60点以上です。
授業時間内に随時コメントを行うことでフィードバックを行います。

【使用テキスト】

必要な場合はプリント

【参考文献】

<https://ja.wikipedia.org/wiki/神経言語学的アプローチ>

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	（初級）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
2	（初級）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
3	（中級1）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
4	（中級1）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
5	（中級2）日常生活について、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
6	（中級2）日常生活について、書く（発表）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
7	テーマの復習（第1回～第6回）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）	
8	（初級）最近あったことについて、話す（読む）	授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		<p>ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
9	<p>（初級）最近あったことについて、書く（発表）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
10	<p>（初級）これからあることについて、話す（読む）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
11	<p>（初級）これからあることについて、書く（発表）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
12	<p>（中級）最近あったこと、これからあることについて、話す（読む）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
13	<p>（中級）最近あったこと、これからあることについて、書く（発表）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
14	<p>テーマの復習（第8回～第13回）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
15	<p>（初級）自分の好みとその理由について、話す（読む）</p>	<p>授業中の録音は可能なので、それを使って、音を忘れないように聞くことができます。スマホを使ってフランス語関連のサイトやアプリ、自動翻訳などを通じて、話したい内容や、フランスやフランス語について調べたり、それについて先生にメールで尋ねれば必ず返事がきます。（必要な時間は1日15分程度）</p>	
	<p>定期試験(実施しない)</p>		

科目ナンバリング： UCC101
授業形態： 演習
科目名： 中国語
担当教員： 李 佳坤(Li JiaKun)

【授業の紹介】

この授業では、中国語を話し読むための発音記号（ピンイン）や中国語の基本文型を学習し、そのうえ、漢字を読み、単語を覚え、簡単な会話や挨拶を練習していきます。発音の練習は通信媒体の機能を利用して楽しく学習していきます。また、中国社会や中国文化についても紹介し、グローバルな思考を養います。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．中国語の発音記号（ピンイン）を学習することによって中国語の漢字をすべて読むことができる。
- 2．中国語での挨拶や簡単な会話ができるようになる。
- 3．中国語基本文型の構造が理解できる。

【成績の評価】

授業中の各活動（10％）、授業時間外の学習ための問題（10％）、中間テスト（30％）、期末テスト（50％）
作文や小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

陳淑梅・劉光赤 著 「実学実用 初級中国語」 朝日出版社

【参考文献】

日中・中日辞書
自編教材『ピンインをマスターできる』

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと単母音	予習：教科書の8ページの単母音 復習：学習内容をノートにまとめ。	
2	子音と単母音	予習：教科書の14ページの子音 復習：配ったプリントで復習する。	
3	子音と複合母音	予習：教科書の複合母音 復習：配ったプリントで復習する。	
4	子音と鼻音	予習：教科書の鼻音 復習：配ったプリントで復習する。	
5	ピンインの復習と簡単な挨拶	予習：教科書20ページまで 復習：配ったプリントで復習する。	
6	ピンインテスト	予習：教科書20ページまで 復習：配ったプリントで復習する。	
7	名前の言い方	予習：自分の名前を中国語で読めるようにピンインを付ける。 復習：自己紹介の練習	
8	「是」の使い方	予習：教科書の24 - 27ページ 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
9	動詞述語	予習：教科書の7課の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
10	動詞「喜欢」の使い方	予習：教科書の8課の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
11	動詞「有」の使い方	予習：教科書の9課の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
12	時間名詞と使い方	予習：教科書の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
13	「在」	予習：教科書の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
14	形容詞述語	予習：教科書の内容 復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
15	復習	予習：教科書の内容	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習：学習内容をノートにまとめ、配ったプリントで復習する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCC102
授業形態： 演習
科目名： 中国語
担当教員： 李 佳坤(Li JiaKun)

【授業の紹介】

この授業では、中国語 を学習した学生を対象にさらに語彙を増やし、基本文型を学習し、それを使って会話をしたり、中国語の文章を読んだり、書いたりします。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1．豊かな人間性や主体的に生きる力
		2．課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3．学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- 1．簡単な会話ができる。
- 2．簡単な中国語を読んだり、書くことができる。

【成績の評価】

小テスト（プリント）（25％）、中間テスト（25％）、期末テスト（50％）
作文や小テストについては、その都度、結果を授業時に講評し、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

陳 淑梅・劉光赤著 「実学実用 初級中国語」（朝日出版社）

【参考文献】

『中日・日中辞典』

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	前置詞「从・往・离」	予習：教科書の11課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
2	動詞「在」と文末の「了」	予習：教科書の12課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
3	時刻、時量詞	予習：教科書の13課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
4	比較の言い方	予習：教科書の14課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
5	助動詞「可以」、方向補語	予習：教科書の15課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
6	復習	予習：教科書の11課～15課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
7	中間テスト	予習：教科書の11課～15課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
8	結果補語、助動詞「会」	予習：教科書の16課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
9	二重目的語、様態補語と助動詞「能」	予習：教科書の17課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
10	可能補語	予習：教科書の18課の前半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
11	程度補語	予習：教科書の18課の後半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
12	「是...的」の使い方	予習：教科書の19課の前半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
13	進行と持続の表現	予習：教科書の19課の後半 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
14	存現文	予習：教科書の20課	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
15	復習	予習：教科書の16課～20課 復習：学習した内容をノートにまとめ、単語と文型を応用して作文する。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK101
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【A】
担当教員： 崔 榮晋(CHOI Youngjin)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法を学習します。日本語の文法と似ているので、単語を覚えていくと会話がより豊になります。多くの学習者が苦手とする、発音は日本語の単語から分かりやすく説明し練習して綺麗な発音が習得できます。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
2. 韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来ることによってコミュニケーションの楽しさを体験できる。
3. 韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
4. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」(入門から初級へ) 金世徳・張京花 著 (博英社) ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと基本母音（10個）		
2	基礎子音（14個）合成母音		
3	韓国語の仕組み		
4	終声(パッチム)と発音のルール		
5	まとめ（母音・子音の発音と成り立ちの習得を確認）		
6	～です/ですか / ～は（自己紹介）		
7	～ではありません。		
8	あります/います / ～に		
9	ありません/いません		
10	まとめ（母音・子音を用いて自由に書き取りができる。自己紹介などの基本挨拶の表現ができる）		
11	「この、その、あの」+N		
12	助詞「～と、～も」		
13	～です・～ます「名詞文の 体」		
14	助詞「～を、～で」		
15	漢数字の言い方		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK101
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【B】
担当教員： 朴 英信

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。授業では、韓国語を読む・書くための文字であるハングルの基本文字（24字）と基本文法を学習します。日本語の文法と似ているので、単語を覚えていくと会話がより豊になります。多くの学習者が苦手とする、発音は日本語の単語から分かりやすく説明し練習して綺麗な発音が習得できます。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 韓国語の固有文字であるハングルの読み書きを正確な発音として習得できる。
2. 韓国語での基本的な挨拶や簡単な会話が出来ることによってコミュニケーションの楽しさを経験できる。
3. 韓国語の語順や文型は、日本語と同様な部分が多く日本語ベースで構造を理解することができる。
4. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（入門から初級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと基本母音（10個）		
2	基礎子音（14個）合成母音		
3	韓国語の仕組み		
4	終声(パッチム)と発音のルール		
5	まとめ（母音・子音の発音と成り立ちの習得を確認）		
6	～です/ですか / ～は（自己紹介）		
7	～ではありません。		
8	あります/います / ～に		
9	ありません/いません		
10	まとめ（母音・子音を用いて自由に書き取りができる。自己紹介などの基本挨拶の表現ができる）		
11	「この、その、あの」+N		
12	助詞「～と、～も」		
13	～です・～ます「名詞文の 体」		
14	助詞「～を、～で」		
15	漢数字の言い方		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK102
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【A】
担当教員： 崔 榮晋(CHOI Youngjin)

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国の日常生活や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動(20%)、小テスト・課題・レポート(50%)、期末試験(30%)
小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」(入門から初級へ) 金世徳・張京花 著 (博英社) ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語 のまとめ		
2	過去形（でした、ました、でしたか、ましたか）		
3	～ （～する前に）		
4	～ （～ましょうか）		
5	～ （～したいです）		
6	～ 「勧誘や希望の言い方（ きましょう 。 したい）」		
7	～ （～した後に）		
8	～ （～ただ、ひたすら、だけ、のみ）		
9	～するつもりです・～予定です「予定、意思」		
10	～ （～しているところ）		
11	～しようとする。（予定や計画、～）		
12	～ ～ （～から～まで）		
13	～ 。（～することにする）		
14	～ / 。（状態の継続）		
15	状態の継続のまとめ（～ている）		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCK102
授業形態： 演習
科目名： 韓国語 【B】
担当教員： 朴 英信

【授業の紹介】

この授業は、実務経験のある教員が担当しています。「韓国語」を履修した学生を対象とします。「韓国語」で学んだ内容を確実に復習した上、より多彩な表現と文法を学習し、多様な場面でコミュニケーションができるように練習します。また、韓国の文化・社会などについても紹介し理解を深め、グローバルな思考力も養います。楽しく学んで韓国語でのコミュニケーションを楽しみましょう。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

1. 「韓国語」で学んだ内容を理解し、韓国の日常生活や文化を深める。
2. より複雑な表現と文法を理解することができる。
3. 学習した内容を実際に利用し、多様な場面でコミュニケーションすることができる。
4. 簡単な文の内容と書き手の意図を理解し、自分の意見を表現することができる。
5. 韓国語だけではなく、社会・文化・経済・政治・歴史などにも理解を深めることができる。
6. ハングル能力検定4級以上の合格を目標とする。

【成績の評価】

授業への取り組みや各活動（20%）、小テスト・課題・レポート（50%）、期末試験（30%）小テスト。レポートについては、その都度、結果を授業時に講評します。定期試験については、教務課窓口で模範解答を閲覧できるようにします。

【使用テキスト】

「WE CAN 韓国語」（入門から初級へ） 金世徳・張京花 著（博英社） ISBN 978-4-910132-15-0

【参考文献】

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーションと韓国語 のまとめ		
2	過去形（でした、ました、でしたか、ましたか）		
3	～ （～する前に）		
4	～ （～ましょうか）		
5	～ （～したいです）		
6	～ 「勧誘や希望の言い方（ きましょう 。 したい）」		
7	～ （～した後に）		
8	～ （～ただ、ひたすら、だけ、のみ）		
9	～するつもりです・～予定です「予定、意思」		
10	～ （～しているところ）		
11	～しようとする。（予定や計画、～）		
12	～ ～ （～から～まで）		
13	～ 。（～することにする）		
14	～ / 。（状態の継続）		
15	状態の継続のまとめ（～ている）		
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： UCI102
授業形態： 演習
科目名： 情報基礎演習【経A】
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1) 学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
- (2) 学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
- (3) 将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021 杉本くみ子他 実教出版 2022年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 (1) パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作(2) コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)+Webとメールの基本操作(1): ワードプロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)+Webとメールの基本操作(2): ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(1): 罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(2): 長文作成機能+ ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(3): レポートの作成+ SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル(画像、音声、動画)の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102

授業形態： 演習

科目名： 情報基礎演習【経B】

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1) 学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
- (2) 学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
- (3) 将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021 杉本くみ子他 実教出版 2022年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 (1) パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作(2) コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)+Webとメールの基本操作 (1): ワードプロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)+Webとメールの基本操作 (2): ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(1): 罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(2): 長文作成機能+ ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(3): レポートの作成+ SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル(画像、音声、動画)の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102

授業形態： 演習

科目名： 情報基礎演習【経C】

担当教員： 山村 孝子(YAMAMURA Takako)

【授業の紹介】

パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1) 学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
- (2) 学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
- (3) 将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021 杉本くみ子他 実教出版 2022年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 (1) パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作(2) コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)+Webとメールの基本操作 (1): ワードプロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)+Webとメールの基本操作 (2): ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(1): 罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(2): 長文作成機能+ ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(3): レポートの作成+ SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル(画像、音声、動画)の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI102

授業形態： 演習

科目名： 情報基礎演習【経D】

担当教員： 山村 孝子(YAMAMURA Takako)

【授業の紹介】

パソコンに関する基礎知識やファイルの保存・整理などの基本操作、学業に必要なレポートの作成法、就職活動や社会に出てからも必要となるさまざまなビジネス文書作成、ポスターなどの表現技能について学ぶ。インターネットの仕組み、メールやWebなどのネットの活用法、さらに、ネット社会を適切に生きるためのセキュリティ技術やモラル・マナー、トラブル対処などについても学習していく。そして、さまざまな発表会やビジネスの場で広く利用されているPowerPointによるスライド作成の基本技能も学ぶ。高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1) 学業を深め、レポートや卒業論文等を仕上げるのに必要な文書作成および情報検索を円滑に実施できる。
- (2) 学業や社会生活において効率よく情報検索や情報発信するための知識・技能、マナーやセキュリティの重要性を理解することができる。
- (3) 将来、社会人としてビジネスや教職などの就業に必要最低限の情報技術と問題解決力を身に付けることができる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

30時間アカデミック 情報リテラシー Office2021 杉本くみ子他 実教出版 2022年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション+パソコンの基本操作 (1) パソコンおよび周辺機器の構成	予習として、GoogleClassroo上で指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	パソコンの基本操作(2) コンピュータにおける情報処理の特性	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	ファイルの保存と整理	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	文書作成の基本(1)+Webとメールの基本操作 (1): ワードプロソフトの特徴と基本機能	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	文書作成の基本(2)+Webとメールの基本操作 (2): ページレイアウトの設定、文書入力、フォントの書式変更など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	文書編集の活用(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(1): 罫線+情報セキュリティの基礎知識など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	文書編集の活用(2)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(2): 長文作成機能+ ネット上の個人情報、著作権など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	文書作成の実際(1)+ ネット社会の倫理とセキュリティ(3): レポートの作成+ SNSの利用など	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚し	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ている場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	文書作成の実際(2)：ビジネス文書およびポスターの作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	プレゼンテーションソフトの基本操作(1)：スライドの作成・編集	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	プレゼンテーションソフトの基本操作(2)：プレゼンテーションの企画案作成	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	プレゼンテーションの企画と実施(1)：マルチメディアファイル(画像、音声、動画)の扱い	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	プレゼンテーションの企画と実施(2)：発表会および相互評価	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習としては、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し、指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は、練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103
授業形態： 演習
科目名： 情報応用演習【経A】
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。
数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
- (2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
- (3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
- (4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （１）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （２）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピボットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103
授業形態： 演習
科目名： 情報応用演習【経B】
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。
数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
- (2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
- (3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
- (4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （１）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （２）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピボットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103

授業形態： 演習

科目名： 情報応用演習【経C】

担当教員： 山村 孝子(YAMAMURA Takako)

【授業の紹介】

情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。
数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
- (2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
- (3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
- (4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （１）身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 （２）表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピボットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI103

授業形態： 演習

科目名： 情報応用演習【経D】

担当教員： 山村 孝子(YAMAMURA Takako)

【授業の紹介】

情報関連の知識・技術の基礎（「情報基礎演習」）をすでに学んだ人を対象に、主にExcelによる表計算を用いた情報の利活用の実際について学ぶ。アンケート調査などで取得した多量のデータを分析し、利用するためには、その前提として様々なデータを取り扱うための基礎知識を学習する必要がある。さらに、様々な種類のデータに対する適切なデータ処理とデータの提示方法を学習し、その練習を繰り返し実施する。そして、数理・データサイエンスに関する基礎知識についても学習する。

数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。また、高等学校教諭一種免許状（情報）および高等学校教諭一種免許状（商業）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力
		3. 学部が示す専門的知識や技能および実践的能力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	
		学部が示す専門的知識や技能および実践的能力	

【到達目標】

- (1)Excelの操作画面の名称と機能を説明できる。
- (2)Excelによる表・グラフの作成、データベースの基本操作を円滑に実行できる。
- (3)日常のさまざまな課題解決に情報技術を活用できる見方・考え方を身に付けることができる。
- (4)数理・データサイエンスの基礎知識について説明できる。

【成績の評価】

授業内課題（30%）、中間試験（30%）、最終課題（40%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。最終課題のフィードバックを希望する場合は、研究室まで来ること。

【使用テキスト】

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	数理・データサイエンスに関する基礎知識 (1) 身近な数理・データサイエンスの紹介 ・データ ・AI利活用における留意事項	予習として、GoogleClassrooで指定した教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
2	数理・データサイエンスに関する基礎知識 (2) 表計算ソフトを利用したデータ処理・データを 守る上での留意事項	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
3	テーブルと条件付き書式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
4	グラフの利用	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
5	基本的な関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
6	順位と条件の判定、検索	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
7	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
8	データベース関数	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する(60分)。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する(60分)。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚してい	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
9	SUMIF関数、配列数式	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
10	フィルタとデータ抽出	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
11	クロス集計とピボットテーブル	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
12	論理演算、真理値表	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
13	条件の組み合わせに関する基本法則	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
14	様々な条件の組み合わせを考えてみる	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、教科書や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（60分）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（60分）。また、タッチタイピングの速度が遅いと自覚している場合は練習ソフトでの自主練習に取り組むこと。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF101

授業形態： 講義

科目名： 経営情報概論

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

現代の情報化社会において、企業経営に欠かせない情報の活用とそれを支える情報システムの概要を学びます。情報システムを用いて業務を自動化・効率化したり、情報システムの支援により適切なタイミングで必要なデータを分かり易く提示させ、データに基づく意思決定を行うといった経営情報学の概要に加えて、情報システムを用いて出来ることと出来ないことの違い、AI(人工知能)の現状について学びます。この科目は、卒業要件の必修科目であり、高等学校教諭一種免許状(情報)取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

1. 企業経営のために、どのような情報が必要なのかを把握し、説明できる。
2. 情報の収集・提示について、概要を把握し、説明できる。
3. 経営上の課題を分析・解決するための方法論について、概要を把握し、説明できる。
4. 企業経営に必要な情報システムについて、概要を把握し、説明できる。

【成績の評価】

授業における取組みとレポート課題(25%)、小テスト(25%)、定期試験代わりの課題(50%)
レポート課題については、優秀なものについて解説を行うことにより、フィードバックを行う。
小テストおよび定期試験代わりの課題については、メールにより採点結果を返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

大場允晶ほか「経営情報システムとビジネスプロセス管理」(創成社)ISBN978-4-7944-2385-6, ¥2,500+税.

【参考文献】

ベネット・ミラー監督『(映画)マネーボール』(ソニー・ピクチャーズ)
新井 紀子『コンピュータが仕事を奪う』(日本経済新聞出版)ISBN978-4532316709
新井 紀子『改訂新版 ロボットは東大に入れるか』(新曜社)ISBN978-4788515635
アンドリュー・カーネギー『カーネギー自伝』(中央公論)ISBN978-4122039841
小川 進『QRコードの奇跡: モノづくり集団の発想転換が革新を生んだ』(東洋経済新報社)ISBN978-4492534199

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
2	ビジネスゲーム	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 時間外学習：ビジネスゲーム(4時間)	
3	意思決定	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
4	メトリクス	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 課題：メトリクスに関する課題(6時間)	
5	確率分布と期待値	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
6	リスクを量る、リスクを取る	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 時間外学習：リスクの計算(4時間)	
7	情報を量る（情報理論）	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 時間外学習：エントロピーの計算(4時間)	
8	情報システムの構成要素とデータベース	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
9	情報システム導入の目的と流れ	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
10	業務プロセスの分析と図式化	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
11	AIが普及した社会の業務スキル	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 課題：新技術と社会変化に関する課題(10時間)	
12	コンピュータが問題を解くとは	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
13	コンピュータ処理の限界（計算理論）	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
14	駆引きの科学（ゲーム理論）	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間)	
15	総括：定期試験代替りの課題に関する説明と今後の学習活動へのアドバイス	復習：教科書および配布資料の内容をもとに授業内容について振り返る(2時間) 課題：定期試験代替りの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		定期試験代替りの課題を実施する

科目ナンバリング： INF263
授業形態： 講義
科目名： 情報倫理及びセキュリティ
担当教員： 玉田 和恵

【授業の紹介】

情報技術の進展は目覚しく、我々を取り囲む情報機器・ネットワーク環境は大きく変化している。Society5.0の実現に向け、自分が問題に直面した際に、高度情報技術を活用して目的や解決策を適切に発想し判断できる人材となる必要がある。この動向は社会、経済、生活のいろいろな分野に大きな影響を及ぼしている。情報技術を健全に活用すれば、素晴らしい社会の進展が期待できる。しかし、物事には光の面と影の面があり、情報技術を悪用した不正行為や反社会的な事件なども多発している。光の部分を進展させるとともに、影の面から自分を守ること、知らないうちに自分が加害者にならない気をつけることなども求められている。そのためにはネットワーク社会でも、日常生活と同じように、「人に迷惑をかける」「自分も被害に遭わない」ための判断力が必要である。その判断力を身につけるために必要となる知識・技能・考え方を修得する。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

情報社会で必要となる問題解決力・思考力・判断力を身につける。
判断に必要となる規範知識・情報技術の知識・合理的判断の知識を身につける。
さまざまな課題に直面した際に適切に判断し、行動できる技術を身につける。

【成績の評価】

到達目標 「情報化社会で必要となる問題解決力・思考力・判断力を身につける。」については、問題解決課題に適切に対応できるかを問う課題で評価する（30%）
到達目標 「判断に必要となる規範知識・情報技術の知識・合理的判断の知識を身につける。」については、自身でネットワーク社会の諸問題の中から問題点を見つけ、レポートとしてまとめる（30%）。
到達目標 「さまざまな課題に直面した際に適切に判断し、行動できる技術を身につける。」については日頃の授業での発言や理解度・行動規範を問うフォームなどの小テストで修得度を評価する（40%）。

【使用テキスト】

松田稔樹、萩生田伸子（2021） 問題解決のためのデータサイエンス入門 実教出版
FOM出版（富士通ラーニングメディア）（2021） ITパスポート試験 対策テキスト&過去問題集（よくわかるマスター）

【参考文献】

なし

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

以下のようにセキュリティ対策を含めた開発経験がある。
汎用コンピュータによる生命保険顧客管理システムの構築、及び、プログラミングの標準化を担当。電力会社電柱敷地管理システムの構築及び、管理業務の自動化システムを開発。
個人企業向け青色申告システムを開発。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ネットワーク社会とは	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク社会で起こる様々な問題について興味関心を持ち、ネットワーク社会の特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ネットワーク社会の特徴について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
2	問題解決の方法と手順	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の方法と手順についてノートにまとめる（120分程度） ・問題解決の方法と手順について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
3	ネットワーク社会とSDGs	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGsとネットワーク社会について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・SDGsとネットワーク社会について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
4	Society5.0時代のネットワーク社会	<ul style="list-style-type: none"> ・Society5.0について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・Society5.0について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
5	情報の収集とデータ分析（IoT・ビッグデータ・人工知能）	<ul style="list-style-type: none"> ・IoT・ビッグデータ・人工知能について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・IoT・ビッグデータ・人工知能について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
6	デジタルトランスフォーメーション（DX）とは	<ul style="list-style-type: none"> ・デジタルトランスフォーメーションについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・デジタルトランスフォーメーションについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
7	ネットワーク社会に求められる情報倫理	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク社会に求められる情報倫理に興味関心を持ち、必要な事項をノートにまとめる（120分程度） ・ネットワーク社会に求められる情報倫理に授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
8	情報セキュリティ（1）（不正アクセス 個人情報保護）	<ul style="list-style-type: none"> ・不正アクセス、個人情報保護について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・不正アクセス、個人情報保護について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
9	情報セキュリティ（2）（セキュリティポリシー ID/パスワード 生体認証 暗号方式）	<ul style="list-style-type: none"> ・情報セキュリティについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・情報セキュリティについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
10	ネットワークと犯罪	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワーク犯罪について興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ネットワーク犯罪について授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	ネットワーク上のコミュニケーション （１）（電子メール Webページ）	<ul style="list-style-type: none"> ・電子メール・Webページについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・電子メール・Webページについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
12	ネットワーク上のコミュニケーション （２）（ソーシャルネットワークサービス）	<ul style="list-style-type: none"> ・ソーシャルネットワークサービスについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ソーシャルネットワークサービスについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
13	ネットワークとビジネス ～企業における倫理とセキュリティ～	<ul style="list-style-type: none"> ・ネットワークビジネスについて興味関心を持ち、その特徴についてノートにまとめる（120分程度） ・ネットワークビジネスについて授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
14	ディベート	<ul style="list-style-type: none"> ・ネット社会のプラス面・マイナス面についてノートにまとめる（120分程度） ・ネット社会のプラス面・マイナス面について、授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
15	情報社会の発展と情報倫理・セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> ・情報社会の発展と諸問題についてノートにまとめる（120分程度） ・情報社会の発展と諸問題について、授業内容をさらに深めるための情報収集を行い、レポートにまとめる（120分程度） 	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF202
授業形態： 講義
科目名： 情報産業概論
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

最近、DX(Digital Transformation)という言葉を目にする機会が増えています。DXとは、「企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革し、競争上の優位性を確立すること」(2018年 経済産業省)ということです。DXは近年のデータ駆動型社会やSociety5.0と呼ばれる社会変革にも影響を受け、日々進化を遂げています。そのため、職業にも大きな変化が生じています。

本講義では、「DXとは何か?」「DXに必要な技術とは?」「DXによって企業、社会はどう変わるのか?」「職業はどう変化するのか」などについて、理解を深め、DXの進展が自らにどう影響するのかを考えてもらいたいと思っています。

また、高等学校教諭一種免許状(情報)の取得のための選択科目です。

高等学校教諭一種免許状(情報)必修

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

- (1) DXについて理解できる
- (2) DXに必要な技術・知識を理解できる
- (3) DXによる社会(学校・企業等)の変化を理解できる
- (4) DXによる職業意識の変化を説明できる

【成績の評価】

授業への取り組みとレポート(10%)、中間レポート(30%)、最終レポート(60%)
レポートについては、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

DXの教養 デジタル時代に求められる実践的知識
志度 昌宏他(著)、三菱ケミカルホールディングス 先端技術・事業開発室 DXグループ(著)
インプレス社 2020年 ¥1,800円+税、ISBN-13 : 978-4295011217

【参考文献】

適宜指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション シラバスを用いて授業の概要とDigital Transformationを説明する。	予習として履修科目の決定とシラバスの熟読 2時間 復習として履修理由のレポートの作成 2時間	
2	DXとは	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
3	DXの実例	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
4	企業の変化	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
5	DXを支えるテクノロジー（CPSなど）	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
6	DXを支えるテクノロジー（セキュリティなど）	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
7	データ分析技術	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
8	データの取扱い	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
9	DXによるビジネスの変化	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
10	デザインシンキング	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
11	DXを利用した新しい技術	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
12	DX社会での職業意識の変化 DX社会での職業意識の変化とそれに伴う職業指導の問題点について説明する。	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
13	DXと社会との関係	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
14	生成AIの概要	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
15	DXとの付き合い方と全体のまとめ	予習としてテキストの振返り 2時間 復習として、最終レポートの作成 2時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UCI101
授業形態： 講義
科目名： 情報基礎
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

「AI」、「ビッグデータ」、「IoT」といったデータ利活用に関連する新技術の進展がこれからの社会に大きな変革をもたらしている。これらの新技術によって創出された新たな製品やサービス等を効果的に活用するために、また、社会人になる基礎力として、ITリテラシーに関する知識を身に付けることが必要となっている。この授業はデータやAIといったものを利活用する際に必要となる基本的な知識と習得し、現代社会におけるITへの認識を深めるよう展開していく。この知識や理解を深めるための実習課題を通し、情報技術活用によるメリットやデメリット、情報化社会に参画する態度についても考えることとする。なお、この授業は国家試験である「ITパスポート試験」の入門としても役立つように配慮していく。また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための必修科目である。さらに、数理データサイエンスAI教育プログラムの科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	大学	課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. パソコンなど情報機器を活用するために最低限必要な、情報機器（ハードウェア）およびソフトウェアの仕組み、情報処理の基礎概念を説明できる。
2. 情報化社会に参画するための知識を習得できる。

【成績の評価】

授業内レポート（20%）、中間試験（30%）、定期試験（50%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。レポートおよび中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。フィードバックとして期末試験の返却を希望する場合は、研究室まで取りに来ること。

【使用テキスト】

かんたん合格 ITパスポート教科書 令和6年度 坂下夕里&ラーニング編集部 インプレス 2023年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション／情報社会で活用されているデータ紹介、データやAIに関する動向	予習として、Googleclassroomで指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
2	ハードウェア（CPU、主記憶装置）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
3	ハードウェア（補助記憶装置、入出力装置、入出力インターフェース）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
4	ソフトウェア（OS、ファイルの管理）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
5	ソフトウェア（表計算ソフト、関数）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
6	コンピュータで扱うデータ（2進数）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
7	コンピュータで扱うデータ（マルチメディア）	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
8	データベース	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
9	ここまでの要点整理と中間試験	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る課題をレポートにまとめて提出する（2時間）	
10	ネットワーク	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
11	情報セキュリティの実際	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
12	システムの導入	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
13	システム開発とプロジェクトマネジメント	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
14	情報社会における光と影	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
15	データやAIを扱う上での留意事項	予習として、その前の授業で指定する範囲の指定教科書を事前に読み、必要に応じて図書館等で専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておく（2時間）。復習として、毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出する（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF220
授業形態： 講義
科目名： プログラミング
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

プログラムは、コンピュータに実行させる命令を書き並べたものである。その命令を書くときに使う言語についていくつか基礎的なものを紹介する。プログラミングの基本について、講義と演習を通して理解することを目標としている。

本授業はBYODパソコンの持込を必須とする。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

- (1)プログラミングの基礎的な考え方を修得できる。
- (2)JavaScriptの基本的文法を理解できる。
- (3)Pythonの基本的文法を理解できる。

【成績の評価】

授業内課題（20%）、中間試験（30%）、定期試験（50%）の総合評価で行なう。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。フィードバックとして定期試験の返却を希望する場合は、研究室まで取りに来ること。

【使用テキスト】

適宜指示する

【参考文献】

ChatGPTと学ぶPython入門 「Python×AI」で誰でも最速でプログラミングを習得できる！
熊澤 秀道（著）翔泳社 2023年 ¥1,980+税 ISBN-13：978-4798182230

スラスラ読める JavaScriptふりがなプログラミング 増補改訂版
リブワークス（著）インプレス 2022年 ¥2,178 ISBN-13：978-4295015116

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、プログラミングの基本とGoogle Colaboratoryの使い方	シラバスの熟読とGoogle Colaboratoryを調査し、ノートにまとめること 3時間 プログラミングの制御を調査し、ノートにまとめること 1時間	
2	プログラミングの基礎 変数とデータ型	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
3	プログラミングの基礎 制御構造	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
4	プログラミングの基礎 関数	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
5	Pythonの基礎 文字列の取扱い	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
6	Pythonの基礎 日時、時刻の取扱い	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
7	Pythonの基礎 リスト、辞書など	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
8	ここまでのまとめと中間試験	予習としてここまでの授業の振り返り 3時間 復習として中間試験の振り返り 1時間	
9	HTML、CSSの基礎	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
10	JavascriptとHTML	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
11	エディタを使ったJavascriptの記述	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
12	イベント処理 イベントリスナー	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したファイルの振り返り 2時間	
13	イベント処理 ボタン等	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したファイルの振り返り 2時間	
14	タイマー処理	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したファイルの振り返り	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		2時間	
15	第9回からここまでのまとめと中間試験	予習としてここまでの授業の振り返り 3時間 復習として中間試験の振り返り 1時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF221
授業形態： 演習
科目名： プログラミング演習
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

プログラミング演習では、JavaScriptおよびPythonを使ってアプリケーションを作成することを目標としている。アプリケーションをいきなり作ることは難しいので、既存のアプリケーションを模倣することからスタートする。演習では、Javascriptの復習を行った後、顔認証のアプリケーションの解説を中心に演習を進めていく。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）必修科目である。

下記の授業計画は目安であって、受講生の理解度に合わせて進行状況を変えることがある。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

- (1)JavaScriptを使ったアプリケーション制作に関する知識を得ることができる。
- (2)Pythonの仕組みを理解することができる。

【成績の評価】

レポート20%、授業の成果物80%で評価する。フィードバックとして、在宅学習課題および中間試験は採点・添削をし、次回以降の授業で返却する。

また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

資料等を作成し、配布する。

【参考文献】

- (1)HTML+JavaScriptによるプログラミング入門第2版 シンカーズ・スタジオ他著 日経BP社 2018年
- (2)最短距離でゼロからしっかり学ぶPython入門 実践編～ゲーム開発・データ可視化・Web開発 Eric Mattes著 鈴木たかのり他訳 技術評論社 2020年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
2	HTMLの復習	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
3	CSSの復習	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
4	Vue.jsとは	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
5	バインディング	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
6	繰返し	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
7	イベント	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
8	フォーム入力	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
9	条件分岐	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
10	トランジション&アニメーション	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
11	ここまでのまとめ	予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、ここまでの内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（1時間）	
12	アプリケーションの制作の基礎	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
13	要件定義	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
14	データの設計	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
15	アプリケーションの制作に向けて	Google classroomを通じて、予習のキーワードを提示するので、図書館等で調べておくこと。（0.5時間）復習として、他の学生のレポートと比較するなど、グループワークを意識して行うこと。（1時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF264
授業形態： 講義
科目名： データエンジニアリング基礎
担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

データエンジニアリングとは、データを収集・処理・蓄積することであり、データ・AI活用にとって非常に重要な役割を果たしています。この授業では、データエンジニアリングを中心に、コンピュータでデータを収集・処理・蓄積するための技術の概要をはじめ、コンピュータ内でのデータの表現、データの収集・編集方法等について理解し、データ・AI活用の基礎的な能力の獲得を目指します。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

- (1) Pythonを用いてデータを収集・処理・蓄積するための技術の概要が理解できる
- (2) データを扱うためのデータ表現の基礎が理解できる
- (3) Webサイト等からデータを検索し、収集できる
- (4) データ・AI利活用に必要なITセキュリティの基礎が理解できる
- (5) 数千件～数万件のデータを加工処理するプログラムが作成できる

【成績の評価】

普通の授業態度（10%）、レポート（30%）定期試験（60%）で評価する。
授業での提出物、定期試験は採点等を行い、返却することによってフィードバックとする。

【使用テキスト】

適宜指示する

【参考文献】

最短コースでわかる Pythonプログラミングとデータ分析 赤石 雅典(著)
日経BP 2022年 ¥3,190 ISBN-13：978-4296201129

ChatGPTと学ぶPython入門 「Python×AI」で誰でも最速でプログラミングを習得できる！
熊澤 秀道(著) 翔泳社 2023年 ¥1,980+税 ISBN-13：978-4798182230

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション シラバスを用いて授業の概要を説明する。	予習として履修科目の決定とシラバスの熟読 2時間 復習として履修理由のレポートの作成 2時間	
2	データエンジニアリングの説明及びGoogle Colabの説明 データエンジニアリングに必要となる知識としてビッグデータおよびセキュリティについて説明を行い、その後、Google Colabの利用方法を説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業内容と授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
3	Pythonの概要	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
4	Pythonの文法とデータ型	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
5	Pythonの制御文、リスト、辞書等	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
6	Pythonの関数定義	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
7	Pandasの概要	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
8	Pandasにおけるデータ表現	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
9	Pandasにおけるデータの収集・加工	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
10	Pandasにおける文字、時間データの加工	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
11	Pandasにおけるデータの結合と検索	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
12	演習：データ分析プロジェクト（1） 課題発見・解決に必要となるデータをWeb上から収集し、そのデータを加工する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
13	演習：データ分析プロジェクト（2） データを処理し、適切にグラフ化する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
14	演習：データ分析プロジェクト（3） データ分析のレポートを作成する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックとレポートの振り返り 2時間	
15	ここまでのまとめと今後の展望	予予習としてこれまで作成した全ノートブックの読み返し 3時間 復習としてAIを利用した分析例を調査し、ノートにまとめること 1時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF223
授業形態： 講義
科目名： 情報システム論
担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

現在、情報システムは、企業の活動の基盤として、なくてはならないものになっています。単に人手を置き換えることで人件費を削減するだけでなく、経営者から末端の従業員まで幅広い立場の者の意思決定を支援し、新しい経営戦略や新しいビジネスプロセスを実現する基幹としての役割を果たすようになっていきます。ビジネスの構想のなかに情報システムを組み込み、情報システムを実際に稼働させる過程を把握することは、経営者にとって必須の知識です。

この授業では、情報システムの開発に焦点を当てながら情報システムに関わる様々な物事を学習し、先人たちによる企業の情報化の取り組みで得られた様々な知恵について学んでいきます。

関連科目として、「情報基礎」「経営情報概論」が既習であることを前提とし、前後の近い時期に「情報産業概論」「プログラミング」「情報ネットワーク論」を履修することを推奨します。また、「データベース論」「システム構成論」に連携します。

この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

1. 企業における情報システムの役割を説明できる。
2. 情報システムの開発の流れと各工程の概要を説明できる。
3. 情報システムの保守や文書管理の重要性を説明できる。
4. 情報システムの要件を定義し、文書化できる。

【成績の評価】

授業への取り組みとコメント（25%）、小テストおよび課題（25%）、定期試験代わりの課題（50%）
小テストおよび定期試験代わりの課題については、メールにて採点結果を返却し、コメントや課題については優秀なものについて解説することによりフィードバックを行う。

【使用テキスト】

小泉寿男ほか『ソフトウェア開発（改訂2版）』（オーム社）、2015、ISBN978-4-274-21841-5。
きたみりゅうじ『キタミ式イラストIT塾ITパスポート令和06年』（技術評論社）、2023、ISBN978-4-297-13805-9。

【参考文献】

羽生章洋『はじめよう！要件定義～ビギナーからベテランまで～』（技術評論社）、2015、ISBN978-4774172286、¥1,980+税。
細川義洋『なぜ、システム開発は必ずモメるのか？49のトラブルから学ぶプロジェクト管理術』（日本実業出版社）、2013、ISBN978-4534051158、¥2,000+税。
岡島幸男ほか『プロマネやっちはいけない（計画・管理編）』（日経BP社）、2011、ISBN978-4822211905、¥1,600+税。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス、情報システムの役割	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
2	情報システムのライフサイクル	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
3	システム開発の流れと代表的な開発モデル	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
4	業務のモデル化と要件定義、ユーザインタフェース	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
5	コード設計と入力チェック	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
6	動作検証(テスト工程)	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
7	プロジェクトマネジメント、アローダイアグラム	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
8	サービスマネジメント、システム監査	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
9	プログラミング	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
10	アルゴリズムとデータ構造	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
11	システム構成、性能指標	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
12	故障対策、信頼性と稼働率、バックアップ	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
13	電子商取引	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間) 復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
14	システム開発に関連する法規、請負と派遣	予習：教科書の内容を読み疑問点を明らかにすること(2時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明	復習：授業で扱った内容について説明できるようにまとめること(2時間) 定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		定期試験代わりの課題を実施する

科目ナンバリング： INF201

授業形態： 講義

科目名： 企業情報システム

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

企業情報システムは、その企業のみで利用する時代から、企業が持つデータを共有し、新たな価値を生み出すものへと変化しています。企業が持つデータは様々な形式があり、またその量は膨大なものとなります。そのような、多種多様な膨大なデータをビッグデータと呼び、それを分析する方法はBI (Business Intelligence) と呼ばれ、データサイエンスにとって重要な役割となっています。この授業では、BIとデータサイエンスについて講義・演習を行い、データの取扱いに長けた人材を育成することを目的としています。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

- (1) BIについて説明できる
- (2) データを分析できる形式に変換する方法を説明できる
- (3) AIを用いたデータ分析ができる

【成績の評価】

授業への取組み（10%）、レポート（90%）

レポートについては、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

適宜指示する

【参考文献】

最短コースでわかる Pythonプログラミングとデータ分析 赤石 雅典(著)
日経BP 2022年 ¥3,190 ISBN-13: 978-4296201129

実務で役立つPython機械学習入門 課題解決のためのデータ分析の基礎
池田 雄太郎、田尻 俊宗 新保 雄大 共著
翔泳社 2023年 ¥3,300 ISBN-13: 978-4798184890

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション シラバスを用いて授業の概要を説明する。	予習として前期の科目である「経営システム工学」の振り返り 3時間 復習として履修理由のレポートの作成 1時間	
2	Pythonによるデータの可視化 その1 グラフ作成のためのライブラリの概要を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
3	Pythonによるデータの可視化 その2 データフレームから簡単なグラフの作成方法を説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
4	データ分析プロジェクトの説明 データ分析の手法について説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
5	データの収集 データ分析のためのデータ収集方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
6	データの加工と編集 データ分析のために必要となるデータの加工、編集方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
7	AIを用いたデータ分析 AI(特に機械学習)を用いたデータ分析について説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
8	AIの学習モデルの構築 AIの学習モデルの構築方法を説明する	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
9	AIの学習モデルを用いたデータの予測 学習モデルを用いたデータ予測の方法を説明する。	予習として授業内容を事前調査し、ノートにまとめること 2時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 2時間	
10	データ分析演習 その1 テーマの選定する。	予習としてテーマ設定の方法について調査し、ノートにまとめること 3時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
11	データ分析演習 その2 データの収集と加工を行う。	予習として分析に必要となるデータを調査し、そのデータの加工方法を調査し、ノートにまとめること 3時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
12	データ分析演習 その3 学習モデルの構築	予習としてAIの学習モデルについて調査し、ノートにまとめること 3時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
13	データ分析演習 その4 データ分析を行う。	予習としてここまでのデータ分析の結果を振り返り、ノートにまとめること 3時間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
14	データ分析演習 その5	予習として、データ分析演習の振り返り 3時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
	データ分析の結果をレポートとしてまとめる。	間 復習として授業で作成したノートブックの振り返り 1時間	
15	全体のまとめとこれからのデータ分析	予習としてここまでの授業内容の振り返り 3時間 復習としてデータ分析の様々な手法の調査し、のーとにまとめること 1時間	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF321

授業形態： 講義

科目名： データベース論

担当教員： 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki)

【授業の紹介】

この授業では、データベースの設計・運用・管理等の基礎的な知識の習得を目標としています。データベースは、データを使いやすいように整理して集積したもので、将来、情報システムの導入や開発に関わる仕事をするためには、必須の知識になっています。また、データサイエンスにおいては、基盤技術の一つでもあり、データベースに関する知識・技術を習得することは、これからの社会人にとって非常に重要なものとなっています。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

- (1) データベースに関する基礎知識を理解し、説明できる
- (2) リレーショナルデータベースの基本的な操作を理解し、SQL文を記述できる
- (3) 適切なデータの構造を理解し、システムのデータフローを理解できる
- (4) データサイエンスにおけるデータベースの役割を説明できる

【成績の評価】

授業への取り組みとレポート（10%）、中間試験（30%）、定期試験（60%）

レポート、中間試験および定期試験については、採点・添削後に返却することにより、フィードバックを行う。

【使用テキスト】

図解まるわかり データベースのしくみ

坂上 幸大（著）、翔泳社 2021年、\ 1,848円、ISBN-13 : 978-4798166056

【参考文献】

適宜指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	予習として履修科目の決定とシラバスの熟読 2時間 復習として履修理由のレポートの作成 2時間	
2	データベースとは	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
3	リレーショナルデータベースとは	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
4	データベースの操作	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
5	SQLとは	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
6	正規表現と関係演算	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
7	データの型と集計	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
8	ここまでのまとめと中間試験 SQLを中心に中間試験を行う	予習としてここまでの授業内容の振り返り 3時間 復習として、中間試験の振り返り 1時間	
9	テーブル設計と正規化	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
10	テーブル設計とER図	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
11	演習：テーブルの正規化	予習としてテーブルの正規化についてノートにまとめること 3時間 復習として、授業の成果物の振り返り 1時間	
12	演習：ER図の作成	予習としてER図とその作成方法についてノートにまとめること 3時間 復習として、授業の成果物の振り返り 1時間	
13	データベースの運用とセキュリティ	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
14	データサイエンスとデータベース 企業経営におけるデータサイエンスの一例としてデータ駆動型経営とデータベースの関係性について説明する	予習として授業範囲のテキストを読み、キーワードを抽出し、ノートにまとめること 2時間 復習として、授業において、疑問に感じたこと、興味を持ったことは研究室に質問に来る、図書館で調べ、ノートにまとめること 2時間	
15	これまでのまとめと今後のデータベースの重要性について	予習としてここまでの授業内容の振り返り 3時間 復習として、ここまでの授業で興味を持ったことをまとめる 1時間	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN311
 授業形態： 講義
 科目名： マーケティングリサーチ
 担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshiro)

【授業の紹介】

前半ではリサーチの概要につき解説し、後半ではリサーチの技法を身につけるための実習を行います。実習については、例年、いろいろな人間ドラマが展開されます。調査するテーマはすんなり決まったものの、質問文の作成にすごく苦労したり、集計作業のミスでせっかく入力したデータがパーになったり、意気揚々と提出した報告書の些細な誤字を指摘されたりと、ストレス溜まりまくりかも？けれども、それらを乗り越えたときの充実感もまた格別です。「ワタシ、頑張りました！」と心より言える瞬間です。一通り実習を済ませた後は、普段目になっている各種のアンケートなどを見る目が変わっているかも？
 なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。また、高等学校教諭一種免許状(情報)、上級ビジネス実務士取得のための選択科目に、上級情報処理士取得のための必修科目に該当します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904 ~ 202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904 ~ 202404	経営学部	専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3
		チーム活動能力	3

【到達目標】

1. 企業及び公共組織等が商品の販売やサービスなどを促進させるために行うリサーチ活動について、理解を深めることができる。
2. リサーチの技法を確実に身につけ、状況に応じてそれを使うことができる。
3. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティ-5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

レポート提出(100%)の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生(グループ)のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません(インターネットを使用する場合もある)。

【参考文献】

内田治・醍醐朝美『実践 アンケート調査入門』日本経済新聞社、2001年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	ガイダンス	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。	
2	アンケートの計画	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	アンケートの作成（テーマの確定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	アンケートの作成（質問文の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	アンケートの作成（アンケート用紙の作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	アンケートの実施	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	アンケートの集計（集計フォーマットの作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	アンケートの集計（回答データの入力）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	アンケートの集計（グラフの作成）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	報告書の作成（集計結果の分析）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	第11回 報告書の作成（文章、分析内容の検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	報告書の作成（レイアウトの検討）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめ	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		ておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
13	報告書の作成（総仕上げ）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
14	調査結果の報告（プレゼンテーション）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF322

授業形態： 講義

科目名： システム構成論

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshige)

【授業の紹介】

企業がWWWサイトやSNSを利用して広報・営業するだけでなく、企業内の業務を支援するためにWWW技術を利用した情報システムを構築しているのが当たり前の時代ですが、中小企業や中堅企業では、ネットワーク管理部署を設置したり、専任のネットワーク管理者をおくことが難しい現状があります。皆さんが卒業後に働く現場で、ネットワーク管理の仕事を依頼されたり、業者との折衝を任されるかも知れません。この授業では、WWWベースのシステムを通じて、情報システムの構成要素や情報システムを構築する際の注意点などを学習します。様々なビジネスへ適用している事例を紹介するのに加え、オンラインショッピングサイトなどやWWWベースの業務支援システムを構成する技術、および、業者との打合せに必要な事柄を学習します。

この科目は、情報ネットワーク論、コンピュータネットワーク論、データベース論の内容を理解していることを前提とします。

この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

1. WWWベースの情報システムの様々なビジネスへの適用例を知り、概要を説明できる。
2. 三層クライアント・サーバシステムの概要を理解し、説明できる。
3. WWWベースの情報システムを構成する技術を理解し、説明できる。
4. 業務を遂行するのに必要な情報システム全体の概要を構想できる。
5. 業務を遂行するのに必要な情報システムを外部の業者に発注することができる。

【成績の評価】

授業における取組みと実技課題（30%）、小テスト（20%）、定期試験に代わる課題（50%）

小テストおよび定期試験に代わる課題についてはメール等により採点結果を通知し、実技課題については優秀例を解説することで、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

資料を配布します。

【参考文献】

押切 孝雄ほか 『はじめてでもよくわかる！ Webマーケティング集中講義』（マイナビ） ISBN978-483995068、¥2,380+税。

小林 恭平ほか 『イラスト図解式 この一冊で全部わかるWeb技術の基本』（SBクリエイティブ） ISBN978-4797388817、¥1,680+税。

きはし まさひろ 『イラスト図解式 この一冊で全部わかるサーバーの基本』（SBクリエイティブ） ISBN978-4797386660、¥1,680+税。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
2	なぜWebシステムは広く利用されるのか	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
3	HTMLの基礎	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：HTMLに関する課題(4時間)	
4	CSSの基礎	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：CSSに関する課題(4時間)	
5	HTTPとWWWコンテンツの公開と管理	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：フォルダ構成とアクセス権限に関する課題(2時間)	
6	動的コンテンツを構成する技術(1)：CGIの仕組みとPerlの基礎	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：CGIに関する課題(2時間)	
7	動的コンテンツを構成する技術(2)：ファイル操作と排他制御処理	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：プログラムからのファイル操作に関する課題(2時間)	
8	動的コンテンツを構成する技術(3)：JavaScript, PHP, JSP, Java Applet	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：デプロイメントに関する課題(2時間)	
9	システム構成要素・データベースとの連携(1)：Webシステムにおけるデータベース	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：データベースに関する課題(6時間)	
10	システム構成要素・データベースとの連携(2)：RDBにおけるテーブルの管理	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
11	システム構成要素・データベースとの連携(3)：プログラムからのデータベース操作	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
12	セキュリティの基礎とアクセス制御(1)：Apacheにおけるアクセス制御の設定	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 実技課題：アクセス制御に関する課題(6時間)	
13	セキュリティの基礎とアクセス制御(2)：SSL、Basic認証、XAuth認証、OAuth認証	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
14	不正アクセス対策と負荷分散	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明	復習：配布資料や検索したことをもとに授業内容をまとめる(2時間) 課題：定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		定期試験代わりの課題を実施します

科目ナンバリング： INF241
授業形態： 講義
科目名： 情報ネットワーク論
担当教員： 最所 圭三(SAISHO Keizo)

【授業の紹介】

インターネットは重要な社会インフラの1つとなっており、それを用いて、情報発信や情報収集、コミュニケーション、エンターテインメント、経済活動などが行われています。企業などの多くの組織などでは社内ネットワークや情報システムが構築され、インターネットに接続されていますが、皆さんが卒業後に働く職場において、インターネットを利用した業務に関わることが多くなると考えられます。場合によっては、ネットワークや情報システムの構築や管理に関わることがあるかもしれません。

この授業では、インターネットで行われているネットワークサービスの利用や情報交換に必要な基礎知識やインターネット上の脅威について学ぶことを目的としています。具体的には、インターネットの基礎、インターネットにおける脅威、ネットワークサービスの仕組み、代表的なネットワークサービスおよびクラウドサービスについて学びます。

なお、この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

1. インターネットがどのようなネットワークであるのか説明できる。
2. インターネット上での脅威やコンピュータウイルスおよびそれらに対する対策について説明できる。
3. インターネット上でのサービスの仕組みを説明できる。
4. Webサービスや電子メールの仕組みを説明できる。
5. クラウドサービスについて説明できる。

【成績の評価】

レポート（20%）、小テスト（20%）、中間試験（30%）、定期試験（30%）で評価する。ただし、レポートを5回以上提出しない場合は合格点に達していても不合格とする。

レポートについては、次の回の授業の開始時に解説することでフィードバックする。

小テスト、中間試験、定期試験については、試験後に解答例を示すことでフィードバックする。

【使用テキスト】

福永勇二「イラスト図解式 この一冊で全部わかるネットワークの基本 第2版」(ソフトバンククリエイティブ)、ISBN978-4-8156-1767-7、\1720E、2023年

【参考文献】

増田若奈、根本佳子「ネットワーク 仕事で使える基本の知識 [改訂新版]」(技術評論社)、ISBN978-4-7741-97777-7、\1680E、2018年

林雅之「イラスト図解式 この一冊で全部わかるクラウドの基本 第2版」(ソフトバンククリエイティブ)

ISBN978-4-7973-9999-8、\1680E、2019年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション	なし	
2	インターネットの概要	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
3	DNSとDHCPの役割と仕組み	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
4	インターネットにおける脅威	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
5	コンピュータウイルスとその対策	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
6	コンピュータ上での種々のデータ形式	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
7	クライアント - サーバモデル	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
8	第6回までのまとめおよび中間試験	第2回から6回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める(5時間)	
9	Webサービスの仕組み	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
10	WebページとHTML	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
11	電子メールの基礎および配送	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
12	電子メールの閲覧およびファイル添付	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
13	ファイル共有とリモートログイン	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
14	クラウドサービス	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
15	授業の総括：重要項目の解説	第7回および第9回から14回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める(7	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF341
授業形態： 講義
科目名： コンピュータネットワーク論
担当教員： 最所 圭三(SAISHO Keizo)

【授業の紹介】

インターネットは、情報発信や情報収集、コミュニケーション、電子商取引などを支える社会基盤であり、社会生活に欠くことができないものです。企業や団体などの多くの組織で組織内のネットワークが構築され、インターネットに接続されていますが、皆さんが卒業後に働く職場において、ネットワーク管理に関する業務に携わることがあるかもしれません。

この授業では、そのような立場になったときに必要とされる知識を得ることを目的として、インターネットの仕組み、インターネットへの接続やネットワーク管理に必要な基礎知識、ネットワークセキュリティの基礎知識などについて学びます。具体的には、ネットワークでの通信で用いられる通信の約束事であるプロトコル、プロトコルの階層化、それぞれの階層の役割、無線通信、ストリーミング、ユーザ管理、暗号通信、ファイアウォールおよびネットワーク監視について学びます。

なお、この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

1. 通信におけるプロトコルについて説明できる。
2. インターネットで用いられているプロトコルの階層化と各階層の役割を説明できる。
3. 仮想ネットワークやストリーミングについて説明できる。
4. ユーザ管理について説明できる。
5. 暗号化技術およびファイアウォールについて説明できる。
6. ネットワーク監視のためプロトコルやツールについて説明できる。

【成績の評価】

レポート（20%）、小テスト（20%）、中間試験（30%）、定期試験（30%）で評価する。ただし、レポートを5回以上提出しない場合は合格点に達していても不合格とする。

レポートについては、次の回の授業の開始時に解説することでフィードバックする。

小テスト、中間試験、定期試験については、試験後に解答例を示すことでフィードバックする。

【使用テキスト】

福永勇二「イラスト図解式 この一冊で全部わかるネットワークの基本 第2版」(ソフトバンククリエイティブ)、ISBN978-4-8156-1767-7、\1720E、2023年

【参考文献】

増田若奈、根本佳子「図解 ネットワーク 仕事で使える基本の知識 [改訂新版]」(技術評論社)、ISBN978-4-7741-97777-7、\1680E、2018年

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容(時間)/復習内容(時間)	備考
1	オリエンテーション	なし	
2	通信プロトコルの概要	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
3	物理的な通信のための物理層	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
4	コンピュータをネットワークに接続するためのネットワークインタフェース層	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
5	世界規模の通信を実現するインターネット層	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
6	インターネット層でのルータの役割	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
7	無線LANと仮想ネットワーク	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
8	ネットワークプログラム同士の通信を実現するトランスポート層	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
9	第7回までのまとめと中間試験	第2回から7回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める(6時間)	
10	TCPにおける通信の信頼性の実現	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
11	ストリーミングとIP電話	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
12	ユーザ管理	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
13	暗号化技術とファイアウォール	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
14	ネットワーク監視プロトコルとネットワーク監視ツール	授業資料を見て、重要と思ったことを教科書の該当部分と照らし合わせてノート等にまとめる(2時間)/提示された課題をレポートとしてまとめる(2時間)	
15	授業の総括：重要項目の解説	第8回および第10回から14回までのレポートを振り返ることで授業内容の理解度を深める	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		(6時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： INF262
授業形態： 演習
科目名： 情報コンテンツ表現演習
担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshi)

【授業の紹介】

現在、企業の広報活動において、動画配信の活用による消費者とのコミュニケーションの重要性が高まっています。特に、コンテンツサービス業務においては、目的を効果的に達成するための表現技術が重要になっています。この科目では、コンテンツ制作に必要な様々な知識について、特に、動画に焦点を当て、その基礎知識と活用方法を学習します。関連科目として、「情報基礎」と「情報コンテンツ表現概論」が既習であることを前提とします。

この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための必修科目です。

なお、使用ソフトウェアのライセンス個数に限りがあるため、時間割記載の授業時間における対面での受講者は、40名までに限定します。優先順位は、教員免許（情報）取得希望者 > 経営情報コース > 成績GPA の順になります。選にもれた受講生については、5校時や土曜日などの時間枠を設定して授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

1. 動画の仕組みやマルチメディアの概念について、他者に説明できる。
2. 各種ファイル形式、および、コンテナフォーマットの概要について理解できる。
3. 各種コンテンツ制作の仕様を理解できる。
4. 様々な目的を達成するために表現技術を活用できる。

【成績の評価】

授業内の制作物（25%）、小テスト（25%）、課題（50%）

小テストについては採点済答案を返却し、課題については優秀作品について講評を行うことにより、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

家子史穂、千崎達也「仕事に使える動画術」（翔泳社）ISBN978-4-7981-4164-0、¥1,800+税。
マウンテンスタジオほか「これからはじめるPremiereProの本[改訂2版]」（技術評論社）、ISBN978-4-297-12417-5、¥2,600+税。

【参考文献】

知的財産教育協会「インターネットユーザのための事例で学ぶ知的財産権の基礎知識」（日本経済新聞社）ISBN978-4-532-49010-2、¥1,600+税。

日本映画・テレビ編集協会編「図解 映像編集の秘訣」（玄光社）ISBN4-7683-0099-5、¥2,000+税。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間)	
2	動画編集ソフト	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
3	動画の歴史とパラパラ漫画	課題：パラパラ漫画(1時間)	
4	パラパラ漫画から動画へ	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
5	撮影と照明	課題：ホワイトバランス(1時間)	
6	動画にとっての音声	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
7	構図・カメラワークと遷移	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
8	演技と絵コンテ	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
9	生成AIの活用	課題：絵コンテ(2時間)	
10	ストーリー構成(1)：三幕構成	課題：ストーリー分析(4時間)	
11	ストーリー構成(2)：関係の変化	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
12	動画の企画と企業での活用	課題：動画制作(8時間)	
13	動画編集	復習：教科書の演習を進める(0.5時間)	
14	動画配信と知的財産権	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間)	
15	総括：より魅力的な動画を目指して	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間)	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： INF261

授業形態： 講義

科目名： 情報コンテンツ表現概論

担当教員： 浮穴 学慈(UKENA Satoshi)

【授業の紹介】

現在、企業の広報活動において、様々なチャネルを用いることによる消費者とのコミュニケーションの重要性が高まっています。このようなコミュニケーションにおいては、目的を効果的に達成するためのコンテンツ選択やその表現技術が重要です。この授業では、コンテンツ制作に必要な様々な知識について、特に、静止画像・文字・音声に焦点を当て、その基礎知識と活用方法を学習します。関連科目として「情報基礎」が既習であることを前提とします。また「情報コンテンツ表現演習」では動画に焦点を当てて学習しますので、続けて受講することを推奨します。この科目は、高等学校教諭一種免許状（情報）取得のための選択科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

1. マルチメディアの概念について、他者に説明できる。
2. 各種ファイル形式について概要を理解できる。
3. 各種コンテンツ制作の仕様を理解できる。
4. 様々な目的を達成するために表現技術を活用できる。

【成績の評価】

授業における取組みと制作課題（25%）、小テスト（25%）、定期試験代替りの課題（50%）
小テストおよび定期試験代替りの課題については、メール等を通じて採点結果を返却します。制作課題については、優秀作品について講評を行うことにより、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

資料を配布します。

【参考文献】

知的財産教育協会「インターネットユーザのための事例で学ぶ知的財産権の基礎知識」（日本経済新聞社）ISBN978-4-532-49010-2，¥1,600+税。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	受講ガイダンス	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (1時間)	
2	画像処理の基礎とファイル形式の変換	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (2時間)	
3	静止画像の加工(1)：領域選択、色調変換	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：領域選択及び色調変換に関する課題 (5.5時間)	
4	静止画像の加工(2)：レイヤー、変形	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：レイヤー及び変形に関する課題(5.5時間)	
5	静止画像の加工(3)：パス、マスキング	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：パス及びマスキングに関する課題(5.5時間)	
6	画像データの仕組み	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (4時間)	
7	文字とフォント	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：フォントに関する課題(2.5時間)	
8	ロゴマークの作成	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：フォントに関する課題(5.5時間)	
9	音声データの加工と編集(1)：MIDIシーケンサ	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：MIDIデータに関する課題(3.5時間)	
10	音声録音の仕組み：標本化・量子化・符号化	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (4時間)	
11	音声データの加工と編集(2)：波形処理ソフト	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：波形処理に関する課題(1.5時間)	
12	音声データの加工と編集(3)：ノイズとフィルタ	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：フィルタに関する課題(1.5時間)	
13	音声データの加工と編集(4)：より高度な音声編集	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (0.5時間) 課題：音声編集に関する課題(7.5時間)	
14	コンテンツの利用と知的財産権：著作権と保護技術	復習：配布資料をもとに授業内容を振り返る (4時間)	
15	総括：定期試験代わりの課題に関する説明	課題：定期試験代わりの課題(2時間)	
	定期試験(実施しない)		定期試験代わりの課題を実施する

科目ナンバリング： INF260
授業形態： 講義
科目名： 情報デザイン論
担当教員： 神部 順子(KANBE Junko)

【授業の紹介】

Webページおよびサイトの制作手法について学ぶ。Webサイトの制作では技術面だけではなく、関連技術やモラルなども理解しておく必要がある。Webサイトは、企業や個人を問わず、絶大な情報を持つ媒体である。そこから得られるメリットやデメリットも理解した上で、制作をしていくこととする。講義と演習を通して理解することを目標としている。

また、高等学校教諭一種免許状（情報）の取得のための必修科目である。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

- (1)公開されているWebサイトを検索・分析し、自ら発信したいWebサイトの構想を得ることができる。
- (2)Webサイト制作にあたり、考えておかなければならないこと自ら整理し、その内容を理解できる。
- (3)Webデザインに関する基礎的な知識を習得することができる。

【成績の評価】

授業内レポート（20%）、中間試験（30%）、定期試験（50%）の総合評価で行う。リアクションペーパーに対するコメントや質問に対するフィードバックは次回授業にて行う。授業内課題および、中間試験結果については次の授業以降に返却・解説する。フィードバックとして定期試験の返却を希望する場合は、研究室まで取りに来ること。

【使用テキスト】

30時間でマスター Webデザイン改訂版 HTML5&CSS 3 実教出版企画開発部 実教出版 2019年

【参考文献】

適宜、指示する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション / Webサイトの基礎技術	予習として、GoogleClassroomから指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
2	Webサイトを制作する前に（仕組み、利点と危険性、著作権と肖像権）	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
3	Webデザインの基礎（テキストのデザイン、レイアウト）	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
4	Webの配色	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
5	Webサイトの制作手順	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
6	Webサイト制作の準備	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
7	ここまでの要点整理と中間試験、HTMLの基本要素	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
8	HTML基礎1：見出し・段落・強調	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
9	HTML基礎2：文字要素	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
10	HTML基礎3：リスト	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		る（2時間）。	
11	HTML基礎4：画像	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
12	HTML基礎5：ハイパーリンク	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
13	HTML基礎6：ページ構造と文書構造の設定	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
14	HTML基礎7：ページ内リンク	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
15	総括：講評および今後の学習に関して	予習として、指定した教科書の該当箇所や配布資料をしっかりと読み、授業内容の目的や達成目標をよく理解する（2時間）。復習として、授業で出題された教科書や配布資料にある課題を必ず実施し指定された期日に提出する（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP332
授業形態： 講義
科目名： 情報科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi)

【授業の紹介】

高等学校における情報教育として設置された普通教科「情報」専門教科「情報」各教科の目標を達成するために必要な基礎知識や指導技術について学習を行う。高等学校学習指導要領改訂についても触れる。教職科目として、情報の教員となるための教育実践の修得し教育実習につなげる科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」について具体的に授業運営ができる。
高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」についての授業運営の課題を解決することができる。

【成績の評価】

評価は、授業内ミニレポート20%、授業内発表50%、課題レポート30%で評価を行います。
授業内ミニレポート、課題レポートは添削し返却します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代情報化社会の概要と普通教科「情報」、 専門教科「情報」の内容概説	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
2	普通教科「情報」設置の経緯と趣旨および科目 編成。高等学校学習指導要領改訂について	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
3	普通教科「情報」の概要	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
4	普通教科「情報」「情報」の目標と内容	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
5	普通教科教科「情報」「情報」の目標と内 容	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
6	普通教科「情報」各科目における授業計画の 立案法	授業計画の立案法について復習する（4時間 ）	
7	学習題材やテーマの選定法	学習課題やテーマの選定法について指示され た課題を解く（4時間）	
8	学習指導案の作成法	学習指導案の作成法について指示された課題 を解く（4時間）	
9	学習指導法	学習指導案を作成する（4時間）	
10	学習の評価と測定の方法	学習の評価と測定の方法の復習（4時間）	
11	専門教科「情報」設置の趣旨	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
12	専門教科「情報」の目標と科目編成	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
13	教育課程の編成と指導計画の作成	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
14	関係法規の概要	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
15	進路指導	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4 時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP333
授業形態： 講義
科目名： 情報科教育法 【卒業要件外】
担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi)

【授業の紹介】

高等学校における情報教育として設置された普通教科「情報」専門教科「情報」各教科の目標を達成するために必要な基礎知識や指導技術について学習を行う。なお、高等学校学習指導要領改訂についても触れる。教職科目として、情報の教員となるための教育実践の修得し教育実習につなげる科目です。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」について具体的に授業運営ができる。
高等学校学習指導要領に定められた、普通教科「情報」専門教科「情報」についての授業運営の課題を解決することができる。

【成績の評価】

評価は、授業内ミニレポート20%、授業内発表50%、課題レポート30%で評価を行います。
授業内ミニレポート、課題レポートは添削し返却します。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

必要に応じてその都度指定する

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	専門教科「情報」基礎的科目の目標と内容 「情報産業と社会」「情報の表現と管理」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
2	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容1 「アルゴリズムとプログラム」「情報と問題解決」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
3	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容2 「情報テクノロジー」「ネットワークシステム」「データベース」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
4	専門教科「情報」応用的選択科目の目標と内容3 「情報メディア」、「情報デザイン」、「表現メディアの編集と表現」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
5	専門教科「情報」総合的科目の目標と内容 「課題研究」「情報システム実習」「情報コンテンツ実習」	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
6	学習指導を行う上で必要な情報活用技能1 情報の収集・処理・発信の技能とツールの利用方法	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
7	学習指導を行う上で必要な情報活用技能2 シミュレーション、問題解決のツールの利用方法	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
8	学習指導を行う上で必要な情報活用技能3 デジタル化、ネットワークコミュニケーション技能	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
9	グループによる教育指導の実際1 グループ分けとテーマ設定	テーマについての調査（4時間）	
10	グループによる教育指導の実際2 設定したテーマについての調査、情報収集	テーマについての調査（4時間）	
11	グループによる教育指導の実際3 調査結果のまとめと授業計画の作	テーマについての調査（4時間）	
12	グループによる教育指導の実際4 学習指導案の作成	学習指導案の作成作業（4時間）	
13	グループによる教育指導の実際5 模擬授業及び相互批判、検討	模擬授業の準備（4時間）	
14	グループによる教育指導の実際6 授業計画、指導案等の手直し、改良、評価、検討	指導案の修正（4時間）	
15	高等学校学習指導要領まとめ	学習指導要領に書かれた内容を復習する（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP111
授業形態： 講義
科目名： 教育学原論【卒業要件外】
担当教員： 松原 勝敏(MATSUBARA Katsutoshi)

【授業の紹介】

教育学原論では、教育課程編成・実施の方針に示す「自ら考え、判断し、行動できる力」を獲得するための基礎作りを行う。そして、卒業認定・学位授与の方針に示す、現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に取り組む力量を獲得するために、本授業では、教育に関係する領域を広範囲に、かつ、多角的に追求し、教育の概念や理念の把握に努める。

今日、人々の教育に関する意見や要望、そして批判には、いろんな立場から多様な意見が噴出して、答えを出すのが非常に難しい状況にある。教育学原論では、教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得し、自らの言葉で今日の教育課題を説明することができる力量を形成する。

本講義は、卒業認定・学位授与の方針の「3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる」及び「自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる」ための資質の形成を目指します。

この科目では、学修成果として、専門知識活用能力、多面的思考能力、多文化理解能力に関連しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3
		多文化理解能力	3

【到達目標】

1. 教育という社会事象を専門的な立場から理解するために必要な基礎的な知識を獲得することができる。
2. 教育の基本的概念や教育の理念の基礎を理解することができる。
3. 教育の歴史や思想の学習をとおして、今日の教育の基本理念の形成過程を理解することができる。
4. 自らの教育観の基礎を作り、教育に関する事柄について、専門的・客観的な立場から、自分なりの意見表明ができる力の獲得することができる。
5. 上の4つの到達目標を達成することで、卒業認定・学位授与の方針に示す、現代社会における様々な問題に関心を持ち、問題解決に取り組む力量を獲得することができる。

【成績の評価】

毎回の授業終了時に課するミニレポート（約30%）、レポート（約20%）、定期試験（約50%）の3つを以て、総合的に評価する。

- ・ミニレポートについては、次の授業の冒頭の部分で内容についてコメントする。
- ・主たるレポート課題については、15回目の授業でフィードバックする。
- ・試験の内容については、学内ネットを通じてフィードバックする。

【使用テキスト】

新中等教育原理（平成22年 佐々木正治編著、福村出版）

【参考文献】

授業時に、適宜、紹介する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション・教育の意味と本質	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育の目的と目標	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	人間社会における教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	家族や社会における教育の思想と教育の役割	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	主要な教育思想	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	近代学校制度の成立と展開	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	日本の学校教育の歴史	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	義務教育の概要	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	今日の我が国における学校制度と主要国の学校制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
10	教育課程の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
11	学習指導の基礎	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	家庭教育	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	生涯学習	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	教員養成	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	今日の教育課題	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP211
授業形態： 講義
科目名： 教師論【卒業要件外】
担当教員： 藤本 駿(FUJIMOTO Syun)

【授業の紹介】

教職や保育職は、皆さんにとって最も身近な職業の一つです。幼稚園や小学校でお世話になった先生に憧れて、この大学に入学した人も多いのではないのでしょうか。では、先生の仕事はどのようなものなのか知っていますか。先生の仕事の実際は、保育や教育を受ける立場からは見えづらいものです。教職や保育職を目指すならば、教師や保育者としての視点を持つことが必要です。

そこで本授業では、教職や保育職にかかわる歴史、制度、理論など様々な視点から検討し、その理解を深めていきます。また、現代社会における教職や保育職の重要性や課題を通して、教職への意欲を高め、各自の教職の在り方を考えることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

1. 公教育の担い手である教職・保育職の社会的意義やその役割について理解できる。
2. 教師観や保育者観の変遷を通して、今日に求められる資質能力を理解できる。
3. 教師・保育者の職務内容や、服務上・身分上の義務を理解できる。
4. 教職・保育職が学校内外の専門家等と連携・分担し、チームとして諸課題に対応する重要性を理解できる。
5. 教職・保育職についての自分の考えを深め、自分の適性や意欲を確かめることができる。

【成績の評価】

毎回授業後に配布する振り返りシートの提出（30%）、4回行う小レポートの作成（20%）、期末試験の結果（50%）から総合的に評価する。

定期試験のフィードバックは、試験終了後に解答例を配付する。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

- ・佐々木司・三山緑編著『これからの学校教育と教師 - 「失敗」から学ぶ教師論入門 - 』ミネルヴァ書房、2014年。
- ・大豆生田啓友他編著『アクティベート保育学 保育者論』ミネルヴァ書房、2019年。
- ・佐久間亜紀・佐伯胖編著『アクティベート教育学 現代の教師論』ミネルヴァ書房、2019年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション、教師・保育者とは何か	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
2	教師観・保育者観の歴史（1）江戸時代の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
3	教師観・保育者観の歴史（2）戦前の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
4	教師観・保育者観の歴史（3）戦後の教師・保育者	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師観・保育者観の歴史に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
5	教師・保育者の役割（1）保育者の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
6	教師・保育者の役割（2）教師の仕事とその魅力	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
7	教師・保育者の役割（3）教師・保育者の職業的特徴	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の役割に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
8	教師・保育者の専門性（1）授業づくり	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
9	教師・保育者の専門性（2）子ども理解	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
10	教師・保育者の専門性（3）学級経営	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の専門性に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めること（2時間）。	
11	教師・保育者の職務内容（1）服務上・身分上の義務	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
12	教師・保育者の職務内容（2）教員研修	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
13	教師・保育者の職務内容（3）勤務条件	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
14	教師・保育者の職務内容（4）チーム学校運営への対応	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、教師・保育者の専門性に関する全体の内容を振り返り、整理した内容や自分の考えを小レポートにまとめること（2時間）。	
15	全体のまとめ、これからの教師・保育者を取り巻く課題	予習として、教員から指示された資料を読み、疑問点や気づいた点をノートに整理すること（2時間）。復習として、授業後に、講義資料を読み返し、感想や意見をノートに整理した上で授業クラスルームに投稿すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP311
授業形態： 講義
科目名： 教育制度論【卒業要件外】
担当教員： 松原 勝敏(MATSUBARA Katsutoshi)

【授業の紹介】

Google Classroom クラスコード：kcvykpI

「教育制度」という言葉は、やや「お堅い」言葉に聞こえるかもしれませんが、また、制度や法規に関連することからは難しいのでできれば避けて通りたい…と思う人も少なくないと思います。

しかし、学校は、今日、私たちの暮らしを支える制度の1つとして機能しています。それ故に、学校には、その目的や制度のあり方、教育内容について様々な規定が設けられるとともに、多くの税金やその他の財貨が投入され、そこに教員をはじめといたくさんの人々が関わって、生徒たちの生活を支えているのです。それゆえに、教員に対する社会的使命や期待には大きなものがあると同時に厳しいものがあります。

本講義は、そのような点を考慮して、責任を果たせる教員としての意識づくりを図りたいと思います。また、採用試験も考慮して、法制面からのアプローチによって教育制度の理解を目指します。できるだけ、丁寧にわかりやすく講義することに努めますので、肩肘張らず受講して下さい。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

- ・教育現場での1つ1つの行為が、社会的な制度の枠の中で運営されていることを理解し、自らの教育実践に取り組む姿勢を形成することができる。
- ・この授業では、教育制度の基本的な枠組みを理解すると共に、制度構築の理念を理解して、教育制度に関する問題に自分なりの意見表明ができる。

【成績の評価】

毎回の授業時におけるミニレポートへのコメント(約30%)、レポート(約20%)及び定期試験(約50%)の合計点によって成績を評価し、単位を認定します。

毎回の授業時に、各学生の学びを点検し、学習成果の改善のためのフィードバックを行います。また、最終的な学習の成果については、私の学内HPを通じて学生に以後の学びへの示唆をフィードバックします。

【使用テキスト】

河野和清編著『現代教育の制度と行政 改訂版』福村出版 2017

【参考文献】

文部科学省「幼稚園教育要領」2017
文部科学省「小学校学習指導要領」2017

その他、授業時に、適宜紹介します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション&教育制度を学ぶ意義	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
2	教育法規の全体像	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
3	学校制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
4	教育行政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
5	教育財政制度とその課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
6	教育課程行政	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
7	学校経営の理論と実際	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
8	学校経営における地域や保護者との連携	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
9	幼児・児童の管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
10	学校における安全管理	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		提出。(1時間)	
11	教員養成制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
12	特別支援教育制度	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
13	学校を巡る社会状況の変化と学校の課題	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
14	生涯学習社会に向けた教育制度の在り方	予習：授業で扱う内容と関係するテキストの該当ページを参照してワークシートを完成させる。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
15	我が国及び諸外国における教育事情と教育改革	予習：1～14回のワークシートの点検。(3時間) 復習：授業内容の振り返りと授業レポートの提出。(1時間)	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP212
授業形態： 講義
科目名： 教育心理学【卒業要件外】
担当教員： 横川 和章(YOKOGAWA Kazuaki)

【授業の紹介】

教師は、幼児・児童・生徒の発達や学習状態を適切にとらえ、それに応じて指導することが求められています。本講義では、幼児・児童・生徒の発達、性格、知的能力（記憶、思考、学習）、やる気、学習指導と評価、学級集団などについての基本的知識を扱います。心理学に基づく教育の充実を目標として、学校や幼稚園・保育所で直接に子どもの教育・保育に関わる際に有用となる理論を紹介し、受講した学生が理論と教育実践を結びつけられることを目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

1. 学生が子どもの教育・保育にあたるための幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程について、理論を含めた基礎的な知識を身に付けることができる。
2. 学生が各発達段階における心理的特性を踏まえた学習活動を支える指導の基礎となる考え方を理解できる。
3. 学生がそのような知識をどのようにして子どもの教育・保育の実践に生かせるのか考える態度を身に付けることができる。

【成績の評価】

- ・定期試験（80％）、授業時に出される課題（20％）。
- ・定期試験及び課題については、オフィスアワーにてフィードバックします。

【使用テキスト】

富永大介・平田幹夫・竹村明子・金武育子（2016）『教職をめざすひとのための発達と教育の心理学』（ナカニシヤ出版）

【参考文献】

鎌原雅彦・竹綱誠一郎（2019）『やさしい教育心理学』（有斐閣）
武田明典（2020）『教師と学生が知っておくべき教育心理学』（北樹出版）
藤原和政・谷口弘一（2021）『学校現場で役立つ教育心理学』（北大路書房）
高櫻綾子（2021）『子どもの育ちを考える教育心理学』（朝倉書店）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育心理学の内容・方法	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
2	学習と記憶	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
3	動機づけ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
4	知能・創造性と学力	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
5	自己理解とパーソナリティ	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
6	心理検査	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
7	測定と評価	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
8	幼児児童生徒の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
9	発達の原理	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
10	発達段階の特徴	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
11	社会化と個性化	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
12	学校不適応行動の理解	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておく	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		こと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
13	学級経営	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
14	学級集団	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
15	発達障害と支援	予習として、事前にテキストを読み、必要に応じて専門用語等の意味を調べまとめておくこと（2時間）。復習として、授業内容やそれに対する自身の考えをまとめ、提出すること（2時間）。	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP121
授業形態： 講義
科目名： 特別支援教育【卒業要件外】
担当教員： 湯浅 恭正(YUASA Takamasa)

【授業の紹介】

特別な支援を必要とする子ども理解を進めるための基本を講義し、学校における教育内容・教育方法について学ぶ。そのために特別な支援を必要とする子どもの心理特性・発達特性、学級づくり・授業づくりの指導方法と教育課程の概要を講義する。これらを通して教師の資質・能力として必要な知識・技術・教育観について学ぶ。さらにインクルーシブ教育の理念・国際的動向・制度の基本を押さえ、「通級による指導」や「自立活動」の意義に触れるとともに、特別支援学校・学級で求められる個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義、関係機関との連携等、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の現代的課題を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

1. 特別な支援を必要とする子どもの生活・発達・学習における困難さとニーズを把握するための基本を理解することができ、それを表現して他者に伝えることができる。
2. 特別な支援を必要とする子どもが授業や学級活動に参加するための支援に必要な知識・支援方法・関係機関との連携の在り方の基本を理解することができ、それを他者に伝えることができる。
3. 特別な支援を必要とする子どもとともに生きるインクルーシブな共生社会の在り方の基本を理解することができ、それを他者に伝えることができる。

【成績の評価】

授業の各回をいくつかにまとめたテーマごとに特別支援教育の基本的な知識と指導技術の理解、さらに教育観について各自が総括した報告を評価する(80%) - 総括の視点は授業において適宜説明し、学生からの質問等を受けて質の高い総括報告を求める。

授業の毎回において小報告を提出し、それをトータルに評価する(20%) - 毎回の小報告について特に重要と思われる学生からの指摘や質問を取り上げて、次回の授業でフィードバックする。

【使用テキスト】

『よくわかる特別支援教育 第2版』(湯浅恭正編、ミネルヴァ書房、2018)

【参考文献】

授業において適宜資料を配布する。また参考文献として、渡部昭男『障害のある子の就学・進学ガイドブック 改訂版』日本標準、2022。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別支援教育を学ぶために-授業のガイダンス	予習内容:指定したテキストの内容の目次を含めて特別支援教育の内容を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援教育を学ぶためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて、総括報告に備える(2時間)。	
2	インクルーシブ教育を含めた特別支援教育の理念と制度	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別支援教育とインクルーシブ教育の関連についてメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、インクルーシブ教育と特別支援教育の理念・制度の関連のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
3	特別なニーズのある子どもの発達特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの発達特性を概観してメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別なニーズのある子どもの発達特性を理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
4	特別なニーズのある子どもの心理特性	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別なニーズのある子どもの心理特性を概観してメモし、講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別なニーズのある子どもの心理特性を理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
5	特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さを概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別支援学校・学級に在籍する子どもの学習・発達における困難さを理解するためのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
6	特別な支援を必要とする幼児の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、特別な支援を必要とする幼児の支援方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、特別な支援を必要とする幼児の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
7	特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、通常学級における特別な支援を必要とする児童・生徒の支援方法の事例を読み、口頭発表に備える(3時間)。復習内容:講義を踏まえて、通常学級における特別な支援を必要とする児童・制度の支援方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
8	教育課程における「通級による指導」「自立活動」の位置づけ	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」「自立活動」の教育課程における位置づけを概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、教育課程における「通級による指導」「自立活動」の位置づけのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
9	「通級による指導」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「通級による指導」の内容と方法を概観し、	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「通級による指導」の内容と方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
10	「自立活動」の内容と指導方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「自立活動」の内容と指導方法を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「自立活動」の内容と指導方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
11	個別の指導計画・個別の教育支援計画の意義と教育課程	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義と教育課程について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」の意義と教育課程における位置づけのポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
12	個別の指導計画・個別の教育支援計画を作成する方法	予習内容:指定したテキストの内容のうち、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する方法を概観し、メモして講義に備える(2時)。復習内容:講義を踏まえて、「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成する方法のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
13	関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義	予習内容:指定したテキストの内容のうち、関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義を概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、関係機関と連携して特別支援教育の体制を整備する意義のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
14	外国につながるのある子ども・貧困等により困難な課題のある子どもへの支援	予習内容:指定したテキストの内容のうち、外国につながるのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援について概観し、メモして講義に備える(2時間)。復習内容:講義を踏まえて、外国につながるのある子どもを含めた特別なニーズのある子どもの支援のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて総括報告に備える(2時間)。	
15	インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向	予習内容:講義の全体を振り返り、総括報告のための準備をする(3時間)。復習内容:講義を踏まえて、インクルーシブ教育時代の特別支援教育の方向のポイントを整理し、図書館やネット等で調べて最終の総括報告に備えるとともに、講義の全体を振り返り、教職における特別支援教育の意義を確かめる。(4時間)。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP231
授業形態： 講義
科目名： 教育課程論【卒業要件外】
担当教員： 山岸 知幸(YAMAGISHI Tomoyuki)

【授業の紹介】

教育課程とは、学校教育を行っていく上での根幹をなすものです。子どもの「資質・能力」を確実に育成するために、様々なレベルでの計画が示されているものと言ってもよいでしょう。

この授業では、教育課程・カリキュラムに関する歴史、意義や編成原理、現在の学習指導要領の重要なポイントについて学んでいきます。教育課程についての具体的な事例にも基づいて考察していきます。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

1. 教育課程・カリキュラムに関わる歴史や理論を理解することができる。
2. 学習指導要領を基準として各学校において編成される教育課程の意義や編成方法を体系的に理解することができる。
3. 各学校の実情にあわせてカリキュラム・マネジメントを行うことの意義を理解することができる。

【成績の評価】

レポート試験（60%）、毎回の授業後に提出する小レポート（40%）

レポートについては、採点基準を説明する。

毎回の授業後に提出する小レポートについては、次の授業時間にコメントを添えて返却する。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領解説 総則編（平成30年7月 文部科学省）

【参考文献】

授業中に適宜資料を配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション - 教育課程とは -	シラバスを読み、また教科書に目を通し、考えたことや疑問点についてノートにまとめておくこと（2時間）。 本授業のねらいについて、A5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
2	我が国の戦後の教育課程の変遷	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
3	カリキュラム改革の歴史（1） - 児童中心主義思想を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
4	カリキュラム改革の歴史（2） - 教育内容の現代化を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
5	教育課程の編成原理と類型	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
6	教育課程の編成・実施・評価・改善	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
7	学習指導要領を学ぶ（1） - 総則を中心に -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
8	学習指導要領を学ぶ（2） - カリキュラム・マネジメントの視点から -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
9	学習指導要領を学ぶ（3） - 学校間連携の視点から -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	
10	教育課程の実際（1） - 年間行事計画 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（2時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントにA5一枚程度にまとめておくこと（2時間）。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	教育課程の実際（２） - 時間割の作成 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
12	教育課程の実際（３） - 日課・週時程の編成 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
13	教育課程の実際（４） - 教科年間指導計画 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
14	教育課程の実際（５） - 特色ある学校づくりと学校評価 -	事前に配布された資料及びテキストを精読し、考えたこと、疑問点をノートにまとめておくこと（２時間）。 レポート作成に向けて、本時の授業内容のポイントをＡ５一枚程度にまとめておくこと（２時間）。	
15	まとめ - これからの教育課程・カリキュラムの課題 -	これまでに配布された資料及びテキストを復習し、質問項目をノートにまとめておくこと（２時間）。 これまで学んだことを整理し、Ａ４一枚程度にまとめること（２時間）。	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP335
授業形態： 講義
科目名： 総合的な学習の時間の指導法【卒業要件外】
担当教員： 野村 一夫(NOMURA Kazuo)

【授業の紹介】

学習指導要領に示された目標、内容及び内容の取扱い等の分析を通して、小・中学校の総合的な学習の時間及び高等学校の総合的な探究の時間の趣旨やねらい、カリキュラム上の位置付けなどの理解を図ります。

また、現代的な課題から探究課題を設定し探究活動を行い、ディスカッションを通して、自己の在り方生き方と一体的で不可分な課題を発見し、解決していくための学習指導の意義を考えます。

これらの学修を通して授業設計や指導法、評価、環境整備、外部との連携などについての基礎的な理解と実践力の育成を図り、高等学校教員としての資質・能力の基礎を培うことを目指します。

この授業ではClassroom(クラスコード：v5rris)を使用し、資料配付や課題「授業リフレクション」の提示などを行います。

この授業科目は教職に関する科目であり、卒業要件外となります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。
		3. 卒業後も継続して新たな目標を設定し、達成に向け積極的にチャレンジできる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

1. 総合的な学習の時間創設の経緯を知り、カリキュラム論に基づく位置付けを説明することができる。
2. 総合的な探究の時間へ移行した背景と趣旨を踏まえ、自己の生き方在り方と一体的で不可分な課題を探究する指導計画を作成することができる。

【成績の評価】

学修内容の理解はもとより、学修に対する意欲と態度を評価します。

「私の考える探究課題」の提出(40%)、「授業リフレクション」の提出(10%)、定期試験(50%)とします。

「授業リフレクション」は、Classroomで提出し、返却時にコメントします。

定期試験は、採点基準を説明します。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領(平成30年告示)解説 総合的な探究の時間編 平成30年 文部科学省

【参考文献】

随時紹介する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。教育委員会や教育センターにおける指導経験を踏まえて、総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の意義と課題、指導上の留意事項等について指導します。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション（総合的な学習の時間（総合的な探究の時間）のイメージ）	予習として、小学校から高等学校における総合的な学習の時間の学習経験（テーマ、特に記憶に残っている学習活動、学習を通じていたことなど）を振り返り、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間の現状と課題を整理し、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
2	総合的な学習の時間の経緯と背景	予習として、総合的な学習の時間を学習することの必要性について考え、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間創設の経緯を踏まえて、その意義授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
3	総合的な学習の時間の教育課程上の位置付けとカリキュラム論	予習として、小・中学校における現行の教育課程（カリキュラム構成）を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間を教育課程に位置付けられていることに関する自らの考え授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
4	総合的な探究の時間への移行による学習指導要領における目標、内容及び内容の取扱いの変化	予習として、総合的な学習の時間と各教科との目標、内容及び内容の取扱いの異同について調べ、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、各教科と総合的な学習の時間の違いから考えたことを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
5	総合的な探究の時間で育成することを旨とする資質・能力	予習として、総合的な学習の時間で身に付けたい力を具体的に考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間で育成する資質・能力をどのように活かすのかを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
6	総合的な探究の時間における四つの課題の取扱い	予習として、総合的な学習の時間における四つの課題を調べノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、四つの課題に関する自らの考えを授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
7	各学校において目標及び内容等を定める際の留意事項	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の全体計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、各学校において目標と内容等を定めることの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
8	総合的な探究の時間の全体計画の作成	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の全体計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、全体計画を作成することの意義を授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
9	総合的な探究の時間の年間指導計画の作成	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の年間指導計画を収集しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間において年間指導計画を作成することの意義を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
10	総合的な探究の時間の単元計画の作成	予習として、実習校等における総合的な学習の時間の学習指導案等を収集しておくこと（1時間）復習として、総合的な学習の時間の学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
11	探究的な学習の過程における「主体的・対話的で深い学び」の視点	予習として、探究的な学習を中核とする単元計画を考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、最適な学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
12	探究的な学習の指導のポイント	予習として、探究的な学習を指導する際の留意事項を考えノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、探究的な学習における指導上留意したいことを考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
13	総合的な探究の時間の評価の在り方	予習として、各教科における評価上の留意点を整理しノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、総合的な学習の時間における評価方法を振り返り、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
14	総合的な探究の時間の指導体制と時間の弾力的運用の在り方	予習として、各教科等における学習形態と指導体制等の工夫を調べノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、時間の弾力的運用の工夫を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
15	総合的な探究の時間に係る環境整備と地域との連携・協働の在り方	予習として、学校と地域との連携・協働の在り方について調べ、ノート等に整理しておくこと。（1時間）復習として、これからの学習活動の在り方を考え、授業リフレクションに記述すること。（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP232

授業形態： 講義

科目名： 特別活動論【卒業要件外】

担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

学校における多様な集団活動による課題の発見や解決を通してよりよい集団の形成や学校での生活を旨とする特別活動の意義を理解するとともに、取り上げた問題やトピックを様々な視点から考察することで、学年の違いによる活動の変化、各教科等との往還的な関連、地域住民や他校の教職員と連携した組織的な対応等、特別活動の特質を踏まえた指導に必要な知識や素養を身に付けます。

「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。

高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

発達科学部の学生も受講します。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：ulx55hf）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		多面的思考能力	3
		チーム活動能力	4

【到達目標】

1. 学習指導要領における特別活動の目標及び主な内容を理解することができる。
2. 教育課程における特別活動の位置付けと各教科等との関連を理解することができる。
3. ホームルーム活動、生徒会活動、学校行事の特質を理解することができる。
4. 教育課程全体で取り組む特別活動の指導の在り方を理解することができる。
5. 特別活動における取り組みの評価・改善活動の重要性を理解することができる。
6. 合意形成に向けた話し合い活動、意思決定につながる指導及び集団活動の意義や指導の在り方を例示することができる。
7. 特別活動における家庭・地域住民や関係機関との連携の在り方を理解することができる。

【成績の評価】

授業への取り組み（30%）提出物（40%）、模擬授業体験（30%）。

提出物は後日返却し、模擬授業体験はその都度コメントするとともに評価のコメントはオフィスアワーで行う。

【使用テキスト】

文部科学省『高等学校学習指導要領解説 特別活動編』（平成30年）東洋館出版社...文部科学省のHPからダウンロードしたものでかまわない

【参考文献】

その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	特別活動の意義・目標・内容と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	特別活動の歴史的変遷	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	特別活動と生徒指導	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	特別活動とホームルーム経営	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	ホームルーム活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	生徒会活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	部活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	学校行事	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
9	特別活動の今	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の解説）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の内容検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	特別活動の指導の在り方（模擬体験授業の構成検討）	予習として、どのような模擬体験授業を行うのかを想定し授業の構成を考え、ノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	模擬体験（グループ発表）と振り返り	予習として、これまでの授業を振り返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	模擬体験（グループ発表）と振り返り	予習として、これまでの授業を振り返るために使用テキストを読み直し、特別活動の目標や意義を、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	これからの特別活動	予習として、予定されている授業内容を確認し、使用テキストの当該範囲を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP233

授業形態： 講義

科目名： 教育の方法及び技術【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi),河田 祥司

【授業の紹介】

現代は高度情報通信社会と言われるように、スマホやタブレット等に代表される各種の情報メディアが開発され、よりに大量の情報生成、蓄積、流通等が可能になりました。このような社会で求められる能力とは、インターネットや新しいICTを活用でき、必要とする情報の選択、加工、創造、伝達等に関わる新しいコミュニケーション能力です。なおこの授業過程では、「学習者の新たな学びという、主体的で対話的な深い学び」を目標にアクティブラーニング(以下、ALと称する)の手法を取り入れた新しい教育改革の一端を経験することができます。

この科目では、学習者の豊かな発想や興味・関心に対応できる学習形態の中で、経験、観察や調査、情報検索、映像やCGなどが活用できる自由度の高いメディアの選択と活用を可能にする教育の方法と技術の修得を目指します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などをもち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

1. 教育実践に必要な教育の方法に関する基礎的・基本的な知識の理解、技術の習得ができる。
2. 新しい学力観に対応した教授学習システムを設計することができる。
3. 情報ネットワークや情報メディアなど、ICTを活用した教育技術の習得ができる。
4. ALを体験することで、新しい教育方法・技術の活用方法が習得でき、教育者としての資質・力量の向上が養われる。

【成績の評価】

予習レポート(15%)、復習レポート(15%)、研究レポート(70%)、なお、予習レポートとは、主として授業前に予習した内容を、復習レポートとは、授業後に行った復習の結果をまとめて提出するもので、後日採点したものは返却する。研究レポートとは、最終試験に代わるものとして、当該科目に関するいくつかの課題から、幾つかを選択して報告書としてまとめて提出するものを指す。

【使用テキスト】

なし

【参考文献】

授業の中で適宜印刷物(資料)を配布します。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析	予習（1時間）：良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析の予習 復習（3時間）復習1時間：良い授業の調査から見る教育（保育）方法・技術の分析の復習	
2	子供の成長・発達段階における教育の役割の考察	予習（1時間）子供の成長・発達段階における教育の役割の予習 復習（3時間）子供の成長・発達段階における教育の役割の考察のまとめ	
3	学習指導要領における「確かな学力」の分析	予習（1時間）学習指導要領における「確かな学力」の分析の予習 復習（3時間）学習指導要領における「確かな学力」の分析の復習	
4	学習意欲の向上を図る動機付け理論の考察	予習（1時間）学習意欲の向上を図る動機付け理論の予習 復習（3時間）学習意欲の向上を図る動機付け理論の復習	
5	指導技術の向上を目指す方策の検討	予習（1時間）指導技術の向上を目指す方策の予習 復習（3時間）指導技術の向上を目指す方策の復習	
6	学習と成長を支える教育目標の分類体系の検討	予習（1時間）学習と成長を支える教育目標の分類体系の予習 復習（3時間）学習と成長を支える教育目標の分類体系の復習	
7	AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析	予習（1時間）AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析の予習 復習（3時間）AL先進校の教育記録からみる有効性と限界の分析の復習	
8	ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討	予習（1時間）ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討の予習 復習（3時間）ICTの特徴と教育（保育）利用の有効性と限界の検討復習	
9	ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成	予習（1時間）ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成の予習 予習（3時間）ICTを活用した学習指導案（保育案）の作成の復習	
10	情報社会の光と影（1）情報モラルと教育	予習（1時間）情報社会の光と影（1）情報モラルと教育の予習 復習（3時間）情報社会の光と影（1）情報モラルと教育の復習	
11	情報社会の光と影（2）未来への展望	予習（1時間）情報社会の光と影（2）未来への展望の予習 復習（3時間）情報社会の光と影（2）未来への展望の復習	
12	AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計	予習（1時間）AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計の予習 復習（1時間）AL「主体的・対話的で深い学び」の授業過程の設計の復習	
13	ALによる教育の円滑な実施（1）指導内容・方法の検討	予習（1時間）ALによる教育の円滑な実施（1）指導内容・方法の検討の予習	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		復習（1時間）ALによる教育の円滑な実施 （1）指導内容・方法の検討の復習	
14	ALによる教育の円滑な実施（2）人的環境等の検討	予習（1時間）ALによる教育の円滑な実施 （2）人的環境等の予習 復習（1時間）ALによる教育の円滑な実施 （2）人的環境等の検討復習	
15	教育の方法及び技術のまとめと展望	予習（1時間）教育の方法及び技術全体の振り返り 復習（3時間）教育の方法及び技術のまとめ	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP336
授業形態： 演習
科目名： 情報通信技術を活用した教育の理論及び方法【卒業要件外】
担当教員： 松田 圭司

【授業の紹介】

この授業では、現代のICTの現状を知り、教育現場や校務でのICT（情報通信技術）活用状況等を学ぶ。講義および視聴覚資料による解説・事例紹介と、学生自身が各種ICT機器、環境を活用し、体験的に学修する機会を設けながら、授業における児童生徒および教員によるICT活用の他、授業の準備、学習評価に関する活用、校務における活用や教育データの活用を学ぶ。

【ディプロマポリシーとの関連】

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

授業のテーマ及び到達目標

- 1．情報通信技術の活用の意義と理論を理解する。
- 2．情報通信技術を効果的に活用した学習指導や校務の推進の在り方について理解する。
- 3．児童及び生徒に情報活用能力（情報モラルを含む。）を育成するための基礎的な指導法を身につける。

【成績の評価】

学生に対する評価

授業への取り組みとレポート課題（50%）、定期試験（50%）

提出されたレポートを返却することにより、フィードバックを行います。

オフィスアワーを設定しているので、利用すること。

【使用テキスト】

テキスト

教室へのICT活用入門（藤本 かおる 著、国書刊行会）ISBN-13：978-4336063397

【参考文献】

参考書・参考資料等

無理なくできる 学校のICT活用 タブレット・電子黒板・デジタル教科書などを使ったアクティブ・ラーニング（長谷川 元洋 著、学事出版）ISBN-13: 978-4761921903

小学校学習指導要領（平成29年3月告示 文部科学省）

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代のICTの現状（ICTを支えるさまざまな技術要素を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
2	ICTの教育現場および校務での活用状況（現在学校で導入されているICT技術の具体例を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
3	教育現場でのICTの重要性および生かし方（教育現場で必要とされているICTの要素を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
4	特別の支援を必要とする児童、生徒のためのICTの活用（特別支援の各種ケースとICT適用の可能性の判断方法を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
5	ICT支援員など外部人材や大学などの外部機関やサポート機関との連携のありかた（ベンダのサポートIPAなど公的機関にはどのようなものがあるか？その活用方法について学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
6	学習場面に応じたICTを効果的に活用した指導事例【教材の作成方法】（実際に教材を作る際に有効なツールについて学ぶ。講義スライドや動画作成ツールなどを学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
7	学習場面に応じたICTを効果的に活用した指導事例【教材の活用、セキュリティ】（効果的な教材の活用方法およびネットワークセキュリティを確保するためのツールについて学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
8	教育データの採取、保管による指導、評価の実践（教務パッケージシステムやLMSの現状について学ぶ。クラウドストレージの有効活用について学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
9	遠隔、オンライン教育の意義およびシステムの利用方法（教務パッケージシステムやLMSそれらの操作方法などを学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
10	遠隔、オンライン教育の事例および問題点を確認（各種オンラインシステムの効果的な活用方法および問題点と改善策（将来像）などの方法を学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		間)	
11	統合型校務支援システムを含む情報通信技術を効果的に活用した校務の推進の方法（重要な校務の抽出、分析とそれらの概略業務フローについて学ぶ）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
12	総合的な学習の時間において、横断的に育成する情報活用能力の内容について（科目の特性に関わらず、スムーズにICTを導入するための手法について学ぶ。）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
13	情報活用能力について各科目の指導事例を理解し、その指導方法の習得1（具体的な指導案の作成および対象科目の選定とその科目の特徴の明確化する。）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
14	情報活用能力について各科目の指導事例を理解し、その指導方法の習得2（指導案策定訓練、レポートの作成及び提出）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
15	将来の理想ICT教育のありかたについて、グループディスカッションおよびレポート作成（機器訓練も含む）	次回の授業内容を確認し、予習としてその範囲の専門用語の意味等を調べ、ノート等にまとめておくこと。（1時間）毎回の授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をまとめておく。提出を求めることもある（1時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP234
授業形態： 講義
科目名： 生徒・進路指導論【卒業要件外】
担当教員： 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

生徒指導の進め方や進路指導・キャリア教育のあり方についての様々な問題やトピックを取り上げ、生徒が抱える課題などを見つけ解決する手法を身に付けます。

「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。

高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

発達科学部の学生も受講します。

また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク、プレゼンテーション、3分間スピーチ）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

この授業ではGoogle Classroom（クラスコード：2rnsi66）を使用します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々と的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	コミュニケーション能力	3
		多面的思考能力	3
		チーム活動能力	4

【到達目標】

1. 生徒指導、進路指導・キャリア教育の理論と方法について理解することができる。
2. 生徒指導、進路指導・キャリア教育を進めていくために必要な知識・技能や素養を身に付けることができる。

【成績の評価】

提出物及び小レポート（50%）、学年末の最終レポート（50%）。
小レポートは後日返却し、最終レポートはオフィスアワーでコメントする。

【使用テキスト】

文部科学省『生徒指導提要（改訂版）』（令和4年）。… 文部科学省のHPからダウンロードしたものでかまわない

【参考文献】

その都度指示する。

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目です。高等学校や教育委員会での教育や指導、管理の経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を進めます。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	生徒指導の基礎	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
2	生徒指導の方法原理	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
3	生徒指導の組織的な取組みと学校内外の連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
4	こども基本法	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
5	進路指導の進め方 - ほめ方と叱り方	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
6	生徒指導の諸問題（1）- インターネットと携帯電話	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
7	生徒指導の諸問題（2）- 校則	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
8	生徒指導の諸問題（3）- いじめ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
9	生徒指導の諸問題（4）- 不登校	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
10	生徒指導の諸問題（5）- 懲戒と体罰	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
11	生徒指導の諸問題（6）- 暴力行為と少年非行	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
12	進路指導・キャリア教育の意義と教育課程における位置づけ	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
13	進路指導・キャリア教育の組織的な推進体制と連携	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
14	職業に関する体験活動とキャリア教育	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
15	生涯を通じたキャリア形成とキャリア・カウンセリング	予習として、予定されている授業内容を確認し、当該範囲の使用テキストや参考文献を事前に読みノート等にまとめておくこと。また、3分間スピーチの担当者は、テーマを決めスピーチできるよう自分の意見をまとめた発表原稿を作成しておくこと。（2時間） 復習として、配付する「REVIEW」の各項目を記入し完成させ提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP331
授業形態： 講義
科目名： 教育相談【卒業要件外】
担当教員： 織田 幸美(ODA Yukimi)

【授業の紹介】

教育相談は、生徒の心理的発達を支援するための日常的な教育活動であり、教育の専門家としての教師にとって、教育相談に関する基礎の習得は不可欠です。幼児・児童・生徒の発達上直面する問題について柔軟に対応し、援助するためのスキルについて、体験的な活動も取り入れながら心理的成長を支える予防的援助について学習します。

この授業ではGoogle Classroom(クラスコード：gl7ixql)を使用し、ICTを活用した双方向型授業を実施します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	4.自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

到達目標は以下の4点である。

- 1.学校における教育相談の意義と理論を理解することができる。
- 2.教育相談を進める際に必要な基礎的知識を理解することができる。
- 3.教育相談の具体的な進め方やそのポイント、組織的な取組みや連携の必要性を理解することができる。
- 4.学校での予防的心理教育の方法について理解し、実践力を高めることができる。

【成績の評価】

学期末試験(60%)と小レポート(40%)

小レポートについては、その都度、授業時に講評する。定期試験については教務課窓口及び教員研究室において模範解答を閲覧できるようにする。

【使用テキスト】

教師のための教育相談(2018年 西本絹子 萌文書林)

【参考文献】

絶対役立つ教育相談(2017年 藤田哲也監修 ミネルヴァ書房)
生徒指導提要(改訂版)デジタルバージョン(2022年 文部科学省)

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

この授業は、実務経験のある教員による授業科目である。小・中・高等学校の現場での教育相談担当教員やスクールカウンセラーの経験を活かし、具体的な事例を示しながら授業を行う。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	現代の子どもと子育てをめぐる状況と教師に求められる役割	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
2	教育相談とは何かー教師のおこなう教育相談の役割・特徴	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
3	相談援助の理論ーカウンセリングとカウンセリングマインドの考え方を理解する。	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
4	相談援助の技術1ーカウンセリングマインドを活かす聴き方	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
5	相談援助の技術2ーカウンセリングマインドを活かす保護者との関係づくり	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
6	子ども理解1ー発達の視点から子どもを理解する	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
7	子ども理解2ー問題のアセスメント	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
8	子ども理解3 問題行動のとら	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
9	いじめ問題への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
10	不登校への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。 （2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまと	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		めて提出すること。（2時間）	
11	特別な支援を要する子どもへの対応1－理解と支援の考え方	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
12	特別な支援を要する子どもへの対応2－支援の実際の基礎	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
13	障害のある子ども・気になる子どもへの保護者への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
14	「困った保護者」・不適切な養育環境への対応	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
15	子ども支援と学級経営	予習として、授業で指定する範囲の教科書を事前に読み、そこに示されるワークについて自分の考えをノート等にまとめておくこと。（2時間）復習として授業の最後に課す授業内容のまとめに関する課題をレポートにまとめて提出すること。（2時間）	
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： BTP351

授業形態： 講義

科目名： 教育実習事前事後指導【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi), 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

高等学校で教育実習を行うための準備学習を行います。
実習後は振り返りと総括を行い、別に教育実習の報告会も実施します。
「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。
また、アクティブ・ラーニング（ディスカッション、グループワーク）を通して授業の理解を深め自分の意見を表明し他人の考え方を知ることにより、学校現場で教壇に立った際の思考・行動の可能性も検討します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。
		4. 自己管理能力、責任感、周囲への配慮、倫理観などを持ち、チームワークを重視した社会性を持った行動ができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		専門知識活用能力	4
		多面的思考能力	3

【到達目標】

- (1) 高等学校教諭の業務や職業倫理について理解し、教師としての使命感や倫理観を培うことができる。
- (2) 自己評価および自己課題の明確化を通して豊かな人間性を育むことができる。
- (3) 学校教育活動に必要な知識や判断力を習得することができる。
- (4) 学習指導計画の作成・実践・記録・評価等を体験する中で、教師として必要な技能、実践力を習得することができる。

【成績の評価】

授業への興味関心及び授業に積極的に参加する態度（20％）、提出物（30％）、発表（50％）
提出物はオフィスアワーで、発表はその都度コメントします。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編（文部科学省 開隆堂出版）
又は、高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 商業編（文部科学省 実教出版）

【参考文献】

必要に応じてその都度指定する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	教育実習の意義・目的・内容等について	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、要点をノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
2	実習校の研究と実習上の留意点	予習として、実習予定の高等学校について調べその特徴などを整理し、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
3	小論文の書き方と教材研究について	予習として、予定されている授業内容を確認し、図書館で関係する本や雑誌を読んだりインターネット等で調べるなどして、要点をノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
4	学習指導と生活指導の方法	予習として、予定されている授業内容を確認し、これまでに受けた講義のテキスト、資料等から要点を整理し、ノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
5	学習指導案の作成	予習として、教育実習において担当が予想される項目について指導案が書けるように、項目等をノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、次時の最初に前時の内容を概説できるよう、ノート等にまとめておくこと。（2時間）	
6	模擬授業の実施と批評	予習として、模擬授業ができるように準備すること。（2時間） 復習として、批評された内容から模擬授業を構成し直し、学習指導要領を修正しておくこと。（2時間）	
7	教育実習事前学習の振り返り	予習として、これまでの授業を振り返り、教育実習への心構えなどをノート等にまとめておくこと。（2時間） 復習として、授業中にあった教員からの最後のアドバイスをノート等にまとめ、教育実習に備えること。（2時間）	
8	教育実習体験後の報告及び指導助言	予習として、教育実習の際に用いたノートを整理しておくこと。（2時間） 復習として、教育実習報告会に向けた資料を作成すること。（2時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP352

授業形態： 実習

科目名： 高等学校教育実習【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi), 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

関係する高等学校現場で2週間を過ごし、教員として実際に生徒の指導ができるようになるための実習を行います。「教職に関する科目」の中で総仕上げとも言える授業です。

「教職に関する科目」ですので、卒業要件単位数には含まれません。
高等学校教員一種免許状の取得を希望する者以外の履修はできません。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心を持ち、多様な立場の人々との的確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4

【到達目標】

学校現場で教職員や生徒と接することを通して、高等学校の教員として教壇に立つために必要な知識や技能を身につけることができる。

【成績の評価】

実習中の様々な活動状況や成果（80％）、学習態度（20％）
提出物は添削し返却します。

【使用テキスト】

高等学校学習指導要領（平成30年告示）解説 情報編（文部科学省 開隆堂出版）
又は、高等学校学習指導要領解説（平成30年告示）解説 商業編（文部科学省 実教出版）

【参考文献】

なし

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）/復習内容（時間）	備考
1	学校の教育方針や特色ある教育について	教育実習、「学校の教育方針や特色ある教育についてのまとめ」（4時間）	
2	指導講話 学習指導について	教育実習、「指導講話 について」のまとめ（4時間）	
3	指導講話 生活指導について	教育実習、「指導講話 について」のまとめ（4時間）	
4	指導講話 実習全般について	教育実習、「指導講話 について」のまとめ（4時間）	
5	学級の実態と学級経営について	教育実習、「学級の実態と学級経営について」のまとめ（4時間）	
6	学級事務についての考え方と実習について	教育実習、「学級事務についての考え方と実習について」のまとめ（4時間）	
7	学習指導案の立案・考え方について	教育実習、「学習指導案の立案・考え方について」のまとめ（4時間）	
8	示範授業の参観と研究	教育実習、「授業の参観と研究」のまとめ（4時間）	
9	授業参観と授業記録の取り方について	教育実習、「授業参観と授業記録の取り方について」の復習（4時間）	
10	教材研究の仕方と学習指導案の書き方について	教育実習の指導案の作成（4時間）	
11	授業参観（学習過程、板書、発問等）	教育実習、観察参加の復習と指導案作成に（4時間）	
12	授業参観（生徒の反応、つぶやき、表情）	教育実習、授業参観のまとめ（4時間）	
13	問題のある生徒の実態把握	教育実習全般のまとめ（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： BTP353

授業形態： 演習

科目名： 教職実践演習（高校）【卒業要件外】

担当教員： 佃 昌道(TSUKUDA Masamichi), 山口 直木(YAMAGUCHI Naoki), 花城 清紀(HANASHIRO Kiyonori), 平畑 博人(HIRAHATA Hiroto)

【授業の紹介】

教職課程やそれ以外の授業科目、その他の種々の活動を通して学生が身につけた資質・能力が、教員として最小限必要なものとして形成され有機的に統合されたかについて個々の授業計画の中で確認し、1年次より記録してきた教職ポートフォリオを活用し振り返り、討議、現地調査、事例研究、ロールプレイング、演習などを通して定着を図ります。
後期開講ですが、必要に応じて前期にも時間を調整して実施することがあります。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	2. 現代社会の様々な問題に関心をもち、多様な立場の人々との確にコミュニケーションを図るとともに、リーダーシップを発揮することで問題解決に取り組める。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	自己管理能力	3
		コミュニケーション能力	3
		専門知識活用能力	4

【到達目標】

- (1) 高等学校教員としての使命感や責任感、教育的愛情等を身につけることができる
 - (2) 高等学校教員としての社会性や対人関係能力を身につけることができる
 - (3) 高校生についての理解や学級経営等に関する知識を身につけ、基礎的経験をすることができる
 - (4) 高等学校の教育課程や指導についての知識と指導力を形成することができる
- 以上4点を目標とします。

【成績の評価】

毎回についてのまとめ、討議や発表における参加度30%、提出物70%で評価する。
フィードバックとして、提出物等は、添削し返却する。
また、オフィスアワーを設定しているので利用すること。

【使用テキスト】

文部科学省『高等学校学習指導要領』2019年。
ただし、他の文献でこれが掲載されているものでもよい。

【参考文献】

特に指定しない。資料を適宜配付する。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

無し

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	オリエンテーション 佃 平畑、山口、花城 本演習の目的と進め方	授業での課題作成（4時間）	
2	オリエンテーション 佃 平畑、山口、花城 教職を取り巻く現代的問題の考察（討議）	授業での課題作成（4時間）	
3	履修全体の振り返りと検討課題の確認 平畑、山口、花城 履修内容の整理と成果及び問題点のまとめ （教職ポートフォリオの整理）	授業での課題作成（4時間）	
4	履修全体の振り返りと検討課題の確認 平畑、山口、花城 発表	授業での課題作成（4時間）	
5	使命感、責任感、教育的愛情等に関する事項 平畑 高等学校教員のあり方と実際	授業での課題作成（4時間）	
6	使命感、責任感、教育的愛情等に関する事項 平畑 発表	授業での課題作成（4時間）	
7	高等学校の現状と課題に関する事項 山口 県下高等学校の学校経営や教育行政の状況	授業での課題作成（4時間）	
8	高等学校の現状と課題に関する事項 山口 討議	授業での課題作成（4時間）	
9	社会性や対人関係能力に関する事項(2) 平畑、山口、花城 教員に求められるマナーや社会性の検討	授業での課題作成（4時間）	
10	社会性や対人関係能力に関する事項(2) 平畑、山口、花城 演習	授業での課題作成（4時間）	
11	社会性や対人関係能力に関する事項(3) 平畑、山口、花城 生徒への対応	授業での課題作成（4時間）	
12	社会性や対人関係能力に関する事項(3) 平畑、山口、花城 保護者への対応	授業での課題作成（4時間）	
13	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(1) 平畑 生徒の理解について(講義)	授業での課題作成（4時間）	
14	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(1) 平畑 同(演習)	授業での課題作成（4時間）	
15	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(2) 平畑 生徒の理解について(講義)	授業での課題作成（4時間）	
16	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(2) 平畑 同(演習)	授業での課題作成（4時間）	
17	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 平畑 生徒の理解について(講義)	授業での課題作成（4時間）	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
18	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 同（演習）	授業での課題作成（4時間）	
19	教育内容の指導力に関する事項(1) 平畑 教育課程の編成原理等の理解（講義）	授業での課題作成（4時間）	
20	教育内容の指導力に関する事項(1) 平畑 討議	授業での課題作成（4時間）	
21	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 花城 保護者の声を聞く	授業での課題作成（4時間）	
22	生徒の理解やホームルーム経営等に関する事項(3) 花城 討議	授業での課題作成（4時間）	
23	教育方法の指導力に関する事項(3) 山口 新しい教育方法や技術の検討（講義）	授業での課題作成（4時間）	
24	教育方法の指導力に関する事項(3) 山口 演習	授業での課題作成（4時間）	
25	新しい高等学校教育 平畑 教育課程特例制度などの検討（現地調査）	授業での課題作成（4時間）	
26	新しい高等学校教育 平畑 教育課程特例制度などの検討（現地調査）	授業での課題作成（4時間）	
27	教員に求められる資質・能力のまとめ(1) 平畑、山口、花城 討議	授業での課題作成（4時間）	
28	教員に求められる資質・能力のまとめ(1) 平畑、山口、花城 総括	授業での課題作成（4時間）	
29	教員に求められる資質・能力のまとめ(2)佃、平畑、山口、花城 発表	授業での課題作成（4時間）	
30	教員に求められる資質・能力のまとめ(2) 佃、平畑、山口、花城 発表と総括	授業での課題作成（4時間）	
	定期試験(実施しない)		

科目ナンバリング： UGS001

授業形態： 演習

科目名： ボランティア

担当教員： 蓮井 孝夫(HASUI Takao), 山本 龍太郎(YAMAMOTO Ryutaro)

【授業の紹介】

この授業では、ボランティアの歴史や現状を学び、ボランティアとは何かについて考えていきます。そしてボランティア活動実施に当たり、活動の意義や社会的な役割などの基礎的知識を「ワークショップ・グループワーク」などのアクティブラーニングを通じ、対話的・主体的・実践的な深い学びをします。学外でのボランティア活動実施の準備として、ゲストスピーカーの体験談や様々な活動への情報提供・体験を行います。あわせて各種活動スキルを学びます。学外ボランティア活動を自主的に体験（必須）することは、多くの異世代の人たちと出会い、「対話と実践」を通じ、未来を開く心豊かな社会人の第一歩となるでしょう。積極的な活動参加を期待しています。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	大学	1. 豊かな人間性や主体的に生きる力
		2. 課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	LO値
201904～202404	大学	豊かな人間性や主体的に生きる力	
		課題に気づいて解決する力や社会に貢献できる力	

【到達目標】

1. ボランティア活動を通じて、視野を広げることができる。
2. 様々な立場の人と接することで、コミュニケーション能力を向上させることができる。
3. ボランティア活動の実体験から、自らの新しい価値観が生み出され、身につけることができる。
4. 社会の構成員としての自覚を認識し、社会的課題解決に取り組めることができる。
5. 「自ら学び、自ら考え、自ら気づき、自ら表現し、自ら行動し、社会的課題を解決する資質や能力」を身につけることができる。

【成績の評価】

学外ボランティア活動・受講態度（約30%）、授業ふりかえり・レポート（約30%）、テスト（約40%）などで総合的に評価（添削し返却又は口頭によるフィードバックを行います）。

【使用テキスト】

使用テキストなし、随時授業資料・レジュメを配付（保存のこと）

【参考文献】

藤田久美編著「大学生のためのボランティア活動ハンドブック」（ふくろう出版）
岡本栄一・菅井直也・妻鹿ふみ子著「学生のためにボランティア論」（大阪ボランティア協会）
巡静一・早瀬昇著「基礎から学ぶボランティアの理論と実際」（中央出版）
ホールファミリーケア協会編「新傾聴ボランティアのすすめ」（三省堂）
堀公俊、加藤彰著「ワークショップデザイン（知をつむぐ対話の場づくり）」
「ワールドカフェをやるう」香取一昭大川恒その他

【実務経験】

有り

【実務経験と授業科目の関係性】

国際支援活動30年（ラオス国の教育支援）。現地に小学校13校建設に携わる。
自殺予防活動38年（相談員）。団体立ち上げと相談員として関わる。
朗読奉仕活動40年（朗読ボランティア養成等）視覚障害者へのCD「あじさい」制作（毎月）し全国発送。大島青松園自治会機関誌「青松」の朗読CD化。
ボランティア団体中間支援活動21年。市民ボランティア団体の活動を支援。
～等、現場でのボランティア経験を活かし、具体的な活動事例を示しながら授業を行います。

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	「オリエンテーション」（ボランティア活動DVD視聴）	（予習）これまで体験したボランティア活動のふりかえろう。 （復習）レジュメを読み返そう。	授業ノートを持参しよう。 全てのレジュメを保存しよう。
2	「子ども食堂」活動紹介 （えびすハッピー子ども食堂）	（予習）県内の「子ども食堂」調べよう。 （復習）「フードバンク」の活動調べよう。	ボランティア活動として参加しよう。
3	「セカンド・ハンド」活動紹介 （事務局職員）	（予習）全国の「セカンドハンド」活動調べよう。 （復習）高松市内の「セカンドハンド」店舗を訪ねてみよう。	ボランティア活動として参加しよう。
4	「折紙」体験 （日本折紙協会香川県支部長）	（予習）図書館の本などで折紙について調べよう。 （復習）再度、折紙して見よう。	折紙は大学が準備します。 保育所・幼稚園実習に役立てよう。
5	「国際教育支援（ラオス）」活動紹介 （香川国際ボランティアセンター理事）	（予習）県内の国際支援団体を調べよう。 （復習）香川国際ボランティアセンターのH、Pをみよう。	ラオスの子どものためにノート、鉛筆、衣類など集めてみよう。
6	「自殺予防活動（電話相談）」活動紹介（香川いのちの電話元理事）	（予習）県内の自殺者数、自殺原因を調べよう。 （復習）レジュメを読み返そう。「傾聴・受容・共感」を意識して友人らと会話してみよう。	
7	「朗読ボランティア」活動体験 （高松朗読会顧問）	（予習）好きな本を声を出して読んでみよう。 （復習）授業で体験した朗読を、再度挑戦してみよう。	保育所・幼稚園実習に役立てよう。
8	「紙芝居」活動体験 （高松朗読会顧問）	（予習）図書館の紙芝居を、声を出して表現してみよう。 （復習）授業で体験した紙芝居を、再度挑戦してみよう。	保育所・幼稚園実習に役立てよう。また友人らと高齢者・障害者施設を訪問してみよう。
9	「SDGsゲーム」活動体験	（予習）SDGsについて調べてみよう。 （復習）SDGs 17項目で取り組める活動を調べてみよう	
10	「こどもミュージカル」活動紹介 （ほくとときみ・こどもミュージカル）	（予習）こどもの体験格差について調べてみよう。 （復習）こどもの体験格差について、自分が出来る事を考えよう。	保育所・幼稚園実習に役立てよう。
11	「ひろしまの原爆体験」取材活動紹介 （西日本放送取材者）	（予習）原爆・戦争被害の写真を見てみよう。 祖父母に体験を聞いてみよう。 （復習）あなたが戦争・平和について何ができるか考えてみよう。	
12	「（元中学校教員・美術）手記高松空襲」絵本原画作成過程	（予習）高松空襲について調べてみよう。 （復習）高松空襲体験記を読んでみよう。 高松平和資料館を訪ねてみよう。	
13	「ボランティア活動の理論」学習	（予習）何のためにボランティア活動をする必要があるのか考えてみよう。 （復習）レジュメを読み返そう。自分が、今、取り組めるボランティア活動を探そう。	
14	「ボランティア活動の理論」学習	（予習）何のためにボランティア活動をする必要があるのか考えてみよう。	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間） / 復習内容（時間）	備考
		(復習) レジюмеを読み返そう。自分が、今、取り組めるボランティア活動を探そう。	
15	「ボランティア活動授業反省会&グループワーク」	(予習) 自分が、今取り組めるボランティア活動を探そう。 (復習) レジюмеを読み返そう。ボランティア活動実践に向けて動きはじめよう。	「ボランティア活動体験報告」は、授業15回目までは教師に提出。以後は、教務課に提出。締め切りは8月25日正午。
	定期試験(実施する)		

科目ナンバリング： GBN214
授業形態： 講義
科目名： 統計学概論
担当教員： 正岡 利朗(MASAOKA Toshirou)

【授業の紹介】

経営に関することのみならず、さまざまな判断を行う際に統計学の知識及び統計に関するセンスは大いに役立ちます。そこで、この授業では、統計学の基本的な考え方を理解し、実際の社会生活で役立つ、さまざまな統計知識の解説を行うかたちで講義を進めます。

なお、本授業は、グループワークで情報収集・ディスカッションを行うアクティブ・ラーニング形式を採用しています。また、高等学校教諭一種免許状（情報・商業）、上級情報処理士取得のための選択科目に該当します。

【ディプロマポリシーとの関連】

要件年度	要件所属	ディプロマポリシー
201904～202404	経営学部	1. 経営・情報・会計などに関する基礎的知識から専門的知識まで体系的に修得し、組織においてその知識を適切に活用することができる。

【学修成果との関連】

要件年度	要件所属	名称	L0値
201904～202404	経営学部	専門知識活用能力	5
		多面的思考能力	5

【到達目標】

1. 統計データからいろいろなグラフを作成することができる。
2. 統計データからいろいろな統計表を作成することができる。
3. 統計データからいろいろな数値を計算することができる。
4. 作成したグラフ・統計表・統計値を解釈し、分析することができる。
5. 統計学の重要な専門用語、公式をよく理解し説明し応用することができる。
6. 上記の各知識や授業中に得た情報処理能力を統合的に活用して、ソサエティ－5.0に寄与する各技能や考え方を身に付けることができる。

【成績の評価】

レポート提出（100％）の結果により判断します。ただし、授業態度が不適切な場合はそれに応じた減点をしますので留意してください。なお、各受講生（グループ）のレポートの結果については講評し、フィードバックを行います。

【使用テキスト】

とくにありません（インターネットを使用する場合もある）。

【参考文献】

阿部 真人『データ分析に必須の知識・考え方 統計学入門 仮説検定から統計モデリングまで重要トピックを完全網羅』ソシム、2021年。

【実務経験】

無し

【実務経験と授業科目の関係性】

【科目等履修生の受入】

有り

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
1	度数分布表	よいレポート内容をまとめるには相当な時間外の学習が必須となります。さまざまな意見を総合して、自分の意見をまとめるための参考にするという態度を時間をかけてぜひ身につけてください。毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
2	ヒストグラム	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
3	代表値（平均値）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
4	散布度（標準偏差）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
5	散布図（2つ以上の変数）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
6	相関係数（2つ以上の変数）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
7	回帰分析（2つ以上の変数）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
8	確率と確率分布	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
9	正規分布の性質	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
10	正規分布の確率計算	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
11	正規分布の確率とEXCELの関数	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の	

【授業計画詳細情報】

回	授業計画	授業時間外の学習 予習内容（時間）／復習内容（時間）	備考
		授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
12	標本分布	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
13	推定（平均値の推定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
14	推定（比率の推定）	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
15	これまでの授業のまとめ（学習した重点項目の確認）と質疑応答	毎回の授業開始前にはプリント等を予習し、疑問点、気づいたことをメモ等にまとめておいてください（2時間）。また、毎回の授業毎にA4・1枚程度の内容要約を行って記録しておいてください（2時間）。	
	定期試験(実施しない)		